



KANSAI 空港レビュー



No.439
2015.6

- 1 | 巻頭言
近畿地方の発展に向けて
森 昌文
- 2 | 各界の動き
- 10 | 講演抄録
官民一体で取り組む関西広域観光戦略
野島 学
- 23 | プレスの目
より親しまれる関空に
桑田 睦子
- 25 | 航空交通研究会研究レポート
あるゲームセオリストから見た航空ネットワーク
米崎 克彦
- 28 | データファイル
・ 運営概況について 2015年(平成27年)4月(速報値)
・ 大阪税関貿易速報[関西空港] 2015年(平成27年)4月
・ 関西国際空港の出入(帰)国者数
・ 関西3空港と国内主要空港の利用状況 2015年(平成27年)4月

【表紙写真】「ルフトハンザ・ドイツ航空 B747-8インターコンチネンタル」

KIXへアプローチするルフトハンザドイツ航空 LH740 便の B747-8 インターコンチネンタルです。旅客機の B747-8 が 5 月 17 日に初めて運航されました。滑走路 06R の ILS に乗った同機が友が島上空約 1000m を通過するところを加太の砲台跡付近から撮影したものです。B747-8 の特徴は主翼とウイングレットが一体となって尖っています。また、機体の長さは 76.3m と旅客機では最大です。

撮影：柴崎 庄司

近畿地方の発展に向けて



国土交通省
近畿地方整備局長

森 昌文

昨今の我が国を取り巻く環境は、急激な人口減少と少子化、異次元の高齢化の進展、都市間競争の激化などグローバル化の進展や、巨大災害の切迫等激変している状況にあり、「経済の再生」と「地方創生」が最重要課題の一つとなっています。このため、昨年7月に国土交通省は、2050年を見据え、未来を切り開いて行くための国土づくりの理念・考え方を示す「国土のグランドデザイン2050～対流促進型国土の形成～」を策定しました。ここには、実物空間と知識・情報空間が融合した「対流促進型国土」の形成をはじめとした、我が国のあるべき姿・進むべき方向性が示されており、この「国土のグランドデザイン2050」も踏まえて、現在、国土形成計画見直しの検討が進められています。

近畿地方整備局では、今後概ね10年間に、関西の現状と課題を踏まえた、目指すべき姿と戦略を盛り込む国土形成計画の地方版「近畿圏広域地方計画」の策定の作業を昨年秋より開始したところです。現在、国・地方自治体・経済界等また学識経験者や各界の方々からのご意見を頂きながら、今年度末を目途に策定すべく検討を進めており、4月14日には近畿圏広域地方計画協議会において計画の骨子案を御議論頂きました。

広域地方計画においては、全国的な課題とともに、「関西の相対的な地位の低下と東京一極集中からの脱却」など関西特有の課題にも対処して行く必要があります。骨子案では、「アジアのゲートウェイを担い、我が国の成長エンジンとなる圏域」や「日本の歴史・伝統文化が集積し、世界を魅了し続ける圏域」などの

目指すべき姿と、これらに対応した「成長エンジンとなる新たな産業の創出」、「国内外のネットワーク機能の強化による対流促進」や「アジア・世界への情報発信力の強化」などの戦略のイメージを描いています。

関西は、伝統的・歴史的な文化資源が集積しており、多様な文化を創造している地域でもあります。また昨年は、関西においても過去最高の訪日外国人が訪れ、今後も増え続けることが見込まれることから、当計画においても、「広域観光・国際観光の推進」は重要な要素になっています。観光振興にも官民一体となって、戦略的に取り組んで行く必要があると考えております。

訪日外国人の方々にとって関西の玄関口となる、関西国際空港や大阪国際空港、新幹線駅や国際港湾などは大変重要な拠点施設であります。観光の戦略を考えて行く上でも、これらの拠点施設と広域幹線道路を効果・効率的に連結させるなど、乗り換えの利便性や移動の円滑性を確保した総合交通体系の確立が今求められております。

新関西国際空港株式会社では、LCC需要の拡大をはじめ、近年増大する航空需要に対応すべく、関西国際空港第1ターミナルビルリノベーションの完工や第3ターミナルビルの整備開始など、利便性・快適性の向上に取り組まれており、関西の経済・産業にも大きく寄与するものと確信しております。

近畿地方整備局といたしましても、近畿圏の元氣を取り戻すべく、広域幹線道路のネットワーク化をはじめとした社会資本整備にも力強く取り組んで参りたいと考えております。今後とも皆様方のご支援とご協力をよろしくお願いいたします。

各界の動き

関西国際空港

●公式アプリの配信開始

新関西国際空港会社は4月28日、関西・大阪両空港の利用者向けにiPhoneとAndroid端末に対応する公式アプリ「KIX-ITM Airport」の配信を開始した。両空港に関するフライト時刻や運航情報などの検索ができるほか、交通アクセス情報、ターミナル館内マップ、レストラン、ショップ、サービス施設などを案内する。

●オリックスと仏バンシ、運営権入札参加を発表

関西・大阪両空港の運営権を巡り、オリックスと空港運営大手の仏バンシ・エアポートは5月1日、運営権入札に参加すると発表した。両社は「対等なパートナー」となることで合意。連合体の中核となる共同代表企業として、他社にも参加を呼びかけて出資比率を詰める。

●空港島を1周、西日本最大級のヨットレース

5月4日、西日本最大級の「関空一周ヨットレース」が行われた。今年で5回目、ヨット80隻、約500人が参加した。

●中国国際航空が杭州線に就航

中国国際航空は7月1日から関西～杭州線を週3往復で開設すると5月7日、発表した。機材はエアバスA319型機(128席)。これにより中国国際航空は、関西空港から北京、上海、大連、天津、杭州の5都市へ、計週45便を運航することになる。

●深圳航空が北京線を開設

深圳航空は年7月1日から関西～北京線を週7便で開設すると5月7日、発表した。機材はエアバスA320型機(158席)。これで関西空港から深圳、福州、無錫、北京の4都市へ、計週12便を就航させる。

●香港エクスプレス航空が香港線を拡充

格安航空会社(LCC)の香港エクスプレス航空は5月7日、1日2往復で運航している関西～香港線を1日3往復に増便すると発表した。増便開始日は6月5日。

●フィリピン航空がセブ線をデイリー運航に増便

フィリピン航空は7月18日から、関西～セブ線を増便し、デイリーで運航すると5月8日発表した。現在は週4便。運航機材はエアバスA321-200型機(194席)。

●GW出入国者、渡航先の首位は中国が韓国逆転

大阪入国管理局は5月11日、関西空港のゴールデンウィーク(4月24日～5月6日)の出入国者数が前年同期比27%増の55万7,570人だったと発表した。出国者の渡航先では中国方面が88%増の6万4,680人となり、36%増の6万450人だった韓国を抜き、GWで初めて首位となった。

●ヤクーツク航空がチャーター便

ロシアのヤクーツク航空は5月11日、7月に関西空港発着のチャーター便計10便を運航すると発表した。カムチャツカとウラジオストク、ハバロフスクから運航するもので、同社の関空チャーター便は2年ぶり。いずれもスホーイ・スーパージェット100型機(93席)で運航する。

●訪日客向け対応強化、24時間リムジンバスや仮眠スペース

新関西国際空港会社は5月12日、急増する訪日客へのサービス体制の強化策を発表した。今夏の実施を目指し、関西空港から大阪市内へ向かうバスを24時間化する。7月には合計4か所の国際線保安検査場ブースを増設し、2015年度中にさらなる増設も検討している。同時にLCC用の第2ターミナルへ向かうバス乗り場などがある商業施設、エアロプラザ内にイスを約200席設置し、仮眠や休憩できるスペースを提供。シャワールームも新設する。国際線到着ロビーの案内カウンターも24時間化。現在の午前6時30分から午後10時までの案内時間を延長する。

●運営権、2次入札も数か月延長

新関西国際空港会社と国土交通省が、関西・大阪両空港の運営権売却で、6月15日としていた2次入札の締め切り期限について数か月の延長を検討していることが5月12日わかった。企業に応札までの時間に余裕を与え、より多くの入札を促す狙いがある。2016年1月を目指していた移行時期も遅れる可能性がある。

●営業益36%増、訪日客伸びる

新関西国際空港会社が14日に発表した2015年3月期の連結決算は、売上高が前期比21%増の1,538億円、営業利益が前期比36%増の442億円だった。アジアからの観光客が伸び、空港施設の使用料や商業収入が増加したことで過去最高益を更新した。3か年計画の最終年度にあたるが、売上高、営業利益とも計画を上回った。有利子負債の残高は9,107億円で、前期末に比べ356億円圧縮した。



クリック!

直営事業を含む商業事業の収入が31%増の432億円と大きく増加。空港運営事業も6%増の666億円と伸び「着陸料の割引などで航空ネットワークを広げ、商業事業の収入を拡大する『新関西モデル』が好回転で動き出した」(安藤圭一社長)ことを示す決算となった。

売上高に占める商業収入(大阪国際空港ターミナル分を除く)は35%と、前期から5ポイント上昇した。免税エリアは2015年3月に1.4倍に拡張しており、その効果がフルに寄与する16年3月期はさらに伸びる見通しだ。

●安藤社長「運営権、高すぎない」、EBITDA倍率は11.5倍

安藤圭一新関西空港会社社長は5月14日の決算発表の席上、関西・大阪両空港の運営権の対価について「高すぎるとい話はないと認識している」と述べ、投資家の理解は得られているとの見方を示した。「金額の絶対額は大きい。日本ではインフラ投資が少ないから、投資家は慎重に見ていると思う」と語った。2015年3月期連結決算によると、EBITDA(利払い前税引き前償却前利益)は693億7,200万円となった。新関西空会社に残る資産や事業の65億円を足すと、759億円になり「2.2兆円を現在価値に変え、759億円で割ると11.5倍。最近の事例を見ても、決して高くない水準」と語った。

●天津航空が初就航、天津、西安線開設

天津航空は5月15日から関西～天津線、西安線をそれぞれ週2便で開設した。新千歳など4空港に乗り入れているが、関西に就航するのは初めてで、6月18日からは天津線を週7便に増便する予定。運航機材はエアバスA320型機(180席)。

●中国南方航空、桂林経由で南寧線開設

中国南方航空は5月16日、関西～南寧線を桂林経由で開設した。週2往復の運航で、関西か

ら桂林と南寧に乗り入れるのは初めて。運航機材はボーイング 737 - 800 型機（163 席）。

●泉州観光情報発信拠点、再オープン

泉州地域の 9 市 4 町で構成する泉州観光プロモーション推進協議会と新関西国際空港会社が連携し、泉州 PR ブース「大阪泉州まるわかり屋」が、関西空港エアロプラザ 2 階のアプローチ店舗内にリニューアルオープンした。泉州地域の観光資源の展示や特産品の販売をおこない、泉州地域の魅力、特産品を PR していく。2014 年 2 月から 11 月末まで開設していた。

●輸出植物検疫カウンターを設置

農林水産省は関西空港第 1 ターミナル北 4 階北出発口付近に輸出植物検疫カウンターを設置した。これまでは、農産物を手荷物として持ち出す場合の輸出検査は、植物防疫所で行ってきた。訪日旅行者がお土産として農産物を持ち帰ることを促進するため、カウンターでも、輸出検査の申請の受け付けと輸出検査、植物検疫証明書の発行を行うことにした。

●ティーウェイ航空が大邱線をデイリーに

ティーウェイ航空は 3 月 30 日に就航した関西～大邱線を、7 月 1 日から週 5 便から毎日運航に増便すると 5 月 18 日、発表した。機材はボーイング 737 - 800 型機（189 席）。

●4月の国際線、外国人が日本人の2倍超

新関西国際空港会社が 5 月 20 日発表した 4 月の関西空港の運営概況（速報値）によると、国際線の外国人旅客数は前年同月比 52% 増の 94 万 2,310 人となり、3 か月連続で単月としての過去最高を更新した。円安で海外旅行を控える傾向が続く日本人は、8% 減の 40 万 5,650 人。外国人が日本人の 2 倍を超したのは初めて。

●シンガポール航空系LCC、7月就航

シンガポール航空子会社の LCC、スクートは 5 月 21 日、7 月 8 日に関西空港に就航すると発表した。台湾・高雄やバンコクを経由してシンガポールを結ぶ路線を週 6 便で始める。機体はボーイングの最新鋭機、787 型機（375 席）を使う。

●運営権1次入札にオリックス連合のみ参加

新関西国際空港会社による関西・大阪両空港の運営権売却に向けた 1 次入札が 5 月 22 日締め切られ、オリックスと仏空港運営大手のバンシ・エアポートの企業連合が入札した。1 次入札参加資格があったのは事前審査を通過した「代表企業」の三菱地所や東京急行電鉄など国内 9 社と、空港運営会社など外資 11 社だったが、最低落札額 2 兆 2 千億円、運営期間 45 年という条件の厳しさから、応札したのはオリックス連合のみだった。オリックス連合は 2 次入札までに、他の企業にも参加を呼びかける。2 次入札を経て最終的な落札者が決まり、来年春ごろに民間企業による運営が始まる。新関西空社は応募企業名や数を明らかにしていない。

●中国東方が寧波、昆明線を増便

中国東方航空は 6 月 12 日から関西～寧波線を週 2 便から週 4 便に、6 月 18 日から関西～長沙～昆明線を週 2 便から週 3 便に増便すると 5 月 22 日発表した。

●ジンエアーがソウル線を1日2便に

韓国の LCC、ジンエアーは 7 月 1 日から、関西～ソウル（仁川）線を増便すると 5 月 22 日発表した。現在の 1 日 1 往復と合わせ、1 日 2 往復のダブルデイリーで運航する。8 月 30 日までの期間限定。運航機材はボーイング 737 - 800 型機（189 席）。

●旅博に162団体

新関西国際空港会社は 5 月 23、24 の両日、「～世界に一番近い旅の博覧会～関西旅博 2015」を開催した。今回で 11 回目、新規出展 20 団体を含む 162 団体が参加し、ゲストとして、歌手のクリス・ハートさんや、「死ぬまでに行きたい！世界の絶景」の著者、詩歩さんが出演した。

●医薬品向けに輸出施設新設

新関西国際空港会社は5月25日、国際貨物地区に輸出施設「メディパック」(150㎡)を開設した。セ氏20度、5度、マイナス5度の温度帯に保てる倉庫があり、医薬品や化学原料などを扱う。

●厦門航空が福州線新規就航、厦門線増便へ

厦門航空は7月1日から関西～福州線を週6便で新規就航、7月5日から関西～厦門線を週3便から週7便に増便して、運航すると5月26日発表した。使用機材はボーイング737-800型機(169席)。

●台湾LCC、タイガーが初就航

台湾のLCC、タイガーエア台湾は、7月3日から関西～台北線を1日1往復のデイリー運航で開設すると5月27日発表した。台湾のLCCが関空へ就航するのは初めてで、日本路線は成田線に次ぐ2路線目。機材はエアバスA320型機(180席)。これで関空のLCC国際線は、16社21都市、週265便となる。

●上海吉祥航空が上海線増便

上海吉祥航空は6月25日から関西～上海線を毎日2便から毎日3便へと増便した。運航機材はエアバスA320型機(158席)。

●運営権、日本生命と住友生命が投資で参加検討

日本生命保険と住友生命保険は5月28日、関西・大阪両空港の運営権売却に関連し、空港運営のための資金を融資するなど金融投資家としての参加を探る方針を明らかにした。

空港

＝ 神戸空港 ＝

●2014年度搭乗者数、3年ぶり増

神戸空港の2014年度の搭乗者数が前年度比3.8%増の約244万5,000人と、3年ぶりに増加に転じたことが、神戸市の調べで分かった。スカイマークが13～14年度に2路線を新設したことが要因。

＝ 成田国際空港 ＝

●9年ぶり、元反対派から土地買収

成田国際空港会社は5月7日、成田空港内の未買収用地のうち、元空港反対派の男性(67)が所有する約0.2haを買収したと発表した。個人所有地の買収は2006年3月以来9年ぶりで、残る未買収用地は2.9haとなった。

●訪日外国人客増加で増収

成田国際空港会社が5月15日発表した2015年3月期決算は、営業収益が前期比1.8%増の2,031億円、最終利益は1.4%減の196億円で、増収減益となった。訪日外国人客の増加により、空港内の物販や飲食収入が伸び増収となったが、航空機の小型化が進んで空港使用料などが減り、減益となった。営業利益は2.8%減の387億円だった。

●米国への事前入国審査実施へ

米国土安全保障省は5月29日、成田空港など外国の10空港に担当官を派遣し、米国行き航空機の搭乗前に乗客の入国審査を済ます「プレクリアランス」(事前審査)を導入する計画を発表した。日本人にとっては米入国手続きの壁が低くなりそうだ。導入時期は日米当局が今後の交渉で決める。

＝ 羽田空港 ＝

●昼間の中国便、10月末から2.5倍の20便に

国土交通省は5月19日、羽田空港と中国を結ぶ昼間時間帯の定期便を10月末から2.5倍となる1日20便（現在8便）にすることで中国政府と合意したと発表した。2012年に一度合意したものの、日中関係の悪化で見送っていた分を実施する。北京、上海便をそれぞれ4便増便し、新たに広州便を4便運航する。

＝ 中部国際空港 ＝

●外国人旅客、免税店好調で増収

中部国際空港会社が5月15日発表した2015年3月期決算は、アジアからの観光客が増え、売上高は前期比7.1%増の492億円と3期連続の増収。特に、免税店などの商業事業は14.4%増の210億円と大幅に伸びた。経常利益は前期比13.3%増の43億円。

●国交省飛行検査センターが完成

国土交通省飛行検査センターの中部空港への移転と格納庫の完成を祝う記念式典が5月16日開かれた。センターは全国に約100か所ある民間飛行場のレーダーや無線施設などの機能や安全性を検査する。羽田空港にあったが老朽化したため、発着の制限が少なく、全国の空港の中央に位置する中部空港に移転した。

＝ その他空港 ＝

●広島空港、ILSの仮復旧作業が完了、再開

国土交通省は、アジアナ航空の事故で4月14日から運用停止していた広島空港に計器着陸装置(ILS)の仮設機材を設置し、5月4日から運用を再開したと発表した。ILSのカテゴリーIを使用することにより、西側からの着陸時の気象条件について、現行の地上視程1,600m以上を550m以上に緩和する。

●名古屋空港に航空展示施設

愛知県は5月15日、県営名古屋空港の一角に、国産初のジェット旅客機、MRJ（三菱リージョナルジェット）など航空機をテーマにした展示施設（7,000㎡）を2017年秋の開館を目指し、整備すると発表した。MRJの量産工場や空港施設と併せて空港周辺全体を「フィールドミュージアム」とする。整備費は30億円。

航空

●GW、空の便も好調

JR旅客6社と国内主要航空会社は5月7日、ゴールデンウィーク(GW)期間中の利用実績を発表した。航空各社の国際線は13%増の48万人、国内線では北海道や九州などの利用が伸び、11%増の260万人だった。JRは北陸新幹線の開業などで新幹線と在来線特急・急行の利用者数は1,356万人で前年同期比9%増となった。

●2014年度輸送実績、ANAが日航に肉薄

ANAグループと日本航空グループの2014年度の旅客輸送実績が5月8日、出そろった。航空券を購入した乗客数と飛行距離を掛けて算出した「有償旅客キロ」は、日航の約361億1,000万旅客キロに対し、ANAは約355億4,900万旅客キロと日航に肉薄した。

●テロ対策で全乗客情報を税関に提出

政府は日本に乗り入れる国内外の航空会社からすべての乗客の予約記録を入国前に取得できるようにする。最終目的地や携帯品の個数などをあらかじめ把握し、テロリストを見分けたり、不正薬物の持ち込みを防いだりする狙いだ。税関の情報システムを年度内に改修し、航空会社のシステムとつないで予約記録が電子データで伝わる仕組みを整える。

●ソラシドエアが最高益

スカイネットアジア航空(ソラシドエア、宮崎市)が5月28日発表した2015年3月期決算(単体)は、税引後利益が前期の21.6倍の15億3,600万円となり、これまでの最高を更新した。営業収入も前期比1.9%増の356億2,400万円と、最高を更新した。那覇発着路線などが好調だった。

●スカイマークが再生計画案提出

民事再生手続き中のスカイマークは5月29日、東京地裁に再生計画案を提出した。100%減資の実施後に投資会社インテグラルやANAホールディングスなどに対して総額180億円の第三者割当増資を行い、新たな株主の元で再生を目指す。

●ピーチ、ふるさと納税の謝礼ポイント拡充

LCCのピーチ・アビエーションは5月29日、「ふるさと納税」の謝礼として同社の航空券購入に使えるポイントを贈ることができる自治体を増やすと発表した。現在は拠点の関西空港がある泉佐野市のみだが、就航先である長崎県や沖縄県などの4自治体に順次広げる。

●エア・ドゥ、純利益5.2倍

エア・ドゥが5月29日発表した2015年3月期決算(単体)は、純利益は前期比5.2倍の6億4,000万円だった。売上高は0.8%減の490億8,700万円、営業利益は2.8倍の22億2,700万円と、増収増益になった。

また、齋藤貞夫社長は6月29日開催予定の定時株主総会で退任。後任には、国土交通省OBで、ANA総合安全推進室参与の谷寧久氏(63)が就任する。これで4代続けて国交省OBが就く。

関西

●2014年度、大阪のホテル稼働率89%

2014年度の大阪市内の主要13ホテルの平均客室稼働率は89%に達し、13年度に比べ1.7ポイント上昇した。日本経済新聞社の調査。5年連続で前年度の実績を上回り、比較可能な08年度以降の過去最高を更新した。京都市内でも主要25ホテルの14年度は87.5%と13年度比1.4ポイント高まった。国内客が大きく伸びたうえ、訪日外国人客の増加も追い風となった。

●日航がUSJと提携、マイルを入場券に

大阪市の米映画テーマパーク、ユニバーサル・スタジオ・ジャパン(USJ)の運営会社は5月11日、観光客誘致に向けて日本航空と提携したと発表した。7月1日から日航のマイルをUSJの入場券に引き換えられるようになるほか、一部アトラクションの待ち時間を短縮できるチケット付きの航空券を販売したり、施設内に専用ラウンジを設けたりする。

●アジア4か国のアンケート、「もう一度、関西旅行したい」70%超

近畿経済産業局は5月11日、「関西を訪れた外国人旅行者等に対する生声アンケート調査」と題するレポートを発表した。訪日外国人数の66.5%を占めるアジア主要4か国(韓国、台湾、中国、香港)からの旅行経験者を対象に行ったもの。「もう一度、関西を旅行したい」との回答が最も多かったのは韓国(93%)。次いで香港(86%)、台湾(84%)、中国(73%)となり、各国とも7割以上が再訪問意向を示した。

●第5回ALL関西『食』輸出セミナーを開催

ALL関西「食」輸出推進委員会(関経連、大商、関西国際空港全体構想促進協議会、新関西国際空港会社で構成)は5月13日、日本貿易振興機構大阪本部などとともに、関西の「食」に携わる生産者や卸売業者を対象とする第5回ALL関西『食』輸出セミナーを開催し約260人が参加した。

●関西経済同友会:新代表幹事に蔭山氏を選出

関西経済同友会は5月14日、総会を開き、新しい代表幹事に蔭山秀一・三井住友銀行副会長

(58) を選出した。関西同友会の代表幹事は 2 人体制で、蔭山氏は、昨年就任した村尾和俊・NTT 西日本社長 (62) とコンビを組む。

●南海電鉄社長に遠北氏

南海電気鉄道は 5 月 14 日、あきたてるひこ 遠北光彦取締役 (60) が社長兼最高経営責任者 (CEO) に昇格する人事を発表した。遠北氏は「沿線は少子高齢化で (収支が) 厳しい。高野山や関西空港など観光の魅力発信に力を入れたい」と抱負を語った。亘信二社長 (65) は退任し、山中諄会長兼 CEO (72) は代表権のない会長にとどまり社長業務を支える。

●関西大手私鉄4社は全社増益

関西の大手私鉄 4 社の 2015 年 3 月期連結決算が 5 月 15 日、出そろった。急増する訪日外国人らの鉄道やホテルなどの利用が好調に推移し、消費税増税に伴う定期券の駆け込み購入の反動で収入が減る中でも、全社が増益を確保した。

●JR西がシンガポールに誘致拠点

JR 西日本は 5 月 15 日、訪日外国人客誘致に向け、7 月にシンガポールに事務所を設立すると発表した。社員が駐在して現地の旅行会社に訪日客向け商品の売り込みなどを行うことで、円安やピザ発給要件緩和などを追い風に増加が続く東南アジアからの訪日客の取り込みを狙う。

●ハルカス展望台の来場者、300万人を突破

日本一の高層ビル、あべのハルカスの展望台来場者数が 5 月 16 日、300 万人を突破した。2014 年 3 月に全面開業。300 万人到達は当初の予想より半年早いという。

●「都構想」反対多数、橋下氏は政界引退表明

大阪市を廃止して 5 つの特別区を設ける「大阪都構想」の賛否を問う住民投票は 5 月 17 日投開票され、反対票が過半数を占めた。これにより大阪市の存続が決まった。橋下徹大阪市長 (大阪維新の会代表) は記者会見し、「12 月の任期満了で政界を引退する」と明言した。開票結果は、反対が 70 万 5,585 票、賛成が 69 万 4,844 票。投票率は 66.83% で、2009 年衆院選や大阪府知事選とのダブル選挙となった 11 年の市長選を上回った。

●中四国の地銀6行と政投銀、観光活性化で協定

瀬戸内海を囲む地域の有力地方銀行 6 行と日本政策投資銀行は 5 月 20 日、観光産業の活性化を目指す協定を締結した。外国人観光客の増加に対応し、広域にまたがる観光産業の担い手への資金支援を充実する狙いだ。

●大阪府、IRの経済波及効果を調査

大阪府は 5 月 21 日、2015 年度一般会計補正予算案を発表した。3,800 万円を増額補正し、補正後の総額は約 3 兆 2,886 億 6,000 万円。府と大阪市が 2020 年を目標に市内の人工島、夢洲に誘致を進めるカジノを含む統合型リゾート (IR) について、市が実施する臨海部再生に伴う経済波及効果などの調査費の補助に充てる。

●うめきた、2期事業で緑地公園に

JR 大阪駅北側の旧梅田貨物駅跡を再開発する「うめきた」2 期事業 (16ha) で、大阪府と大阪府は 4.4ha の緑地公園を 2026 年度までに共同で整備する方針を決め、大阪府が 5 月 21 日、関連の事業費を盛り込んだ一般会計補正予算案を府議会議会運営協議会に示した。総工費は約 222 億円で、府と市がそれぞれ約 77 億円ずつを支出、国も約 67 億円を補助する。

●松井知事「府市連携局設置を」

松井一郎大阪府知事は 5 月 27 日の定例記者会見で、府と大阪市の二重行政の解消などに今後取り組むため、「大都市局」に代わる、府・市共同の部署、「府市連携局」を設置したいという考えを示した。

●関経連、外国人の視点で関西の魅力アップへフォーラム

関西経済連合会は5月27日、外国人観光客に限らず、ビジネスパーソン、留学生等の受け入れに向けて関西の強みや克服すべき課題について関係機関が共有・議論するはなやか KANSAI 魅力アップフォーラムを設置すると発表した。フォーラムでは、外国人の生の声をもとに、今後の取組課題を抽出・共有し、経済界、行政の幅広い関係者が課題への取組の働きかけと取組状況のフォローアップを行う。

●USJが再上場を申請

テーマパーク、ユニバーサル・スタジオ・ジャパンの運営会社ユー・エス・ジェイが、東京証券取引所に再上場を申請したことが5月28日、分かった。早ければ9月にも再上場する見通し。2007年に東証マザーズに上場したが、入場者数の落ち込みやリーマン・ショックなどを受け、株価が低迷。米投資銀行大手ゴールドマン・サックス系ファンドによる株式公開買い付けで2009年に上場廃止。大株主のGS傘下で経営再建を進めてきた。

国

●日本 観光競争力史上最高の9位

スイスの世界経済フォーラム（WEF）が5月6日、2015年の観光競争力ランキングを発表した。日本は141か国・地域中、9位だった。前回2013年の14位から順位を上げ、2007年の調査開始以来、最高の順位。「Treatment of customers（客の待遇）」「鉄道インフラの質」「テロ発生率の低さ」の3項目で首位だったが、物価の高さは評価が低く、空港関係費用は82位、燃料価格は126位と足を引っ張った。

●成田空港などTPPの国有企業規制対象に

政府が株式の50%超を保有する日本郵政や成田国際空港会社（NAA）などが、環太平洋経済連携協定（TPP）の国有企業規制の対象に入る見通しになった。規制対象の国有企業は外国企業も日本企業と同等に取り扱うなどの公正な事業運営を求められる。TPPでは、各国の国有企業が守るべきルールも定める。原則として政府が50%超を出資する企業や独立行政法人などを国有企業と定義し、参加国は規制の対象外にする例外企業のリスト作りを急いでいた。

●旅行収支が55年ぶりの黒字

財務省が5月13日に発表した2014年度の国際収支状況（速報）で、旅行の受取（インバウンド）2兆2,344億円に対し、支払（アウトバウンド）が2兆245億円となり、1959年度以来55年ぶりに旅行収支の黒字（2,099億円）を記録した。前年度5,304億円の赤字だった。

●空港整備、PFIが原則、経財諮問会議民間議員提言

政府の経済財政諮問会議が5月19日開かれ、伊藤元重東大大学院教授ら4人の民間議員が歳出入の両面から財政健全化に向けた改革を提言した。少子高齢化で予算の膨張が続く社会保障分野を歳出削減の柱とし、人口20万人以上の自治体は、上下水道や空港などの整備では民間資金活用による社会資本整備（PFI）を原則とするなど、公的分野への民間参入による効率化策も示した。

●4月の訪日外国人客数、初の170万人突破

日本政府観光局が5月20日発表した4月の訪日外国人客数は、前年同月比43%増の176万4,000人で、初めて単月として170万人を突破した。円安傾向の継続や訪日客に人気の高い桜の季節だったことがその要因。

● 講演抄録

官民一体で取り組む
関西広域観光戦略公益社団法人関西経済連合会
産業部長

野島 学氏



● と き 平成27年4月9日（木） ● ところ 大阪キャッスルホテル6階 鳳凰・白鳥の間

■はじめに

関西経済連合会の野島です。本日の名簿を拝見していると、関西広域観光戦略をとりまとめるに当たり、ご指導いただいた皆さま、そして日頃から関経連の活動で大変お世話になっている諸先輩方がたくさんいます。その中で話すのは誠に恐縮ですが、2月に関経連で関西広域観光戦略をまとめたので、紹介いたします。

私自身は平成2年から平成10年くらいまで関経連で関空の建設促進のプロジェクトに関わっていました。ちょうど埋め立てが始まって、平成6年に開港、2期事業のスキームが決まる、これくらいのときに空港の担当をしました。空港調査会にも大変お世話になりました。事務所にも頻繁にうかがい、いろいろ打ち合わせ等もさせてもらいましたが、今日は久しぶりに空港調査会の講演でお話をすることで、非常にうれしく思っております。

私が関空を担当していたとき、平成6年9月4日に関西国際空港が開港し、私も担当者として大変喜びました。それまで伊丹空港で止まっていた飛行機が関空に移動して、これからは関西が西日本のゲートウェイ、アジアのゲートウェイとして、インバウンドやビジネスなどの拠点になるということで、すごく期待をして関空の開港を迎えました。そのとき実際外国からのお客さんがどれくらい来ていたのかを調べてみると、平成6（1994）年に外国から来たお客さんは346万人でした。昨年2014年は

1,341万人で、20年くらいのあいだに1,000万人も増加しました。まさにこれから観光が新しいビジネス、産業として盛り上がっていき、そのためにいろいろな環境整備等もしていかなければならないと思います。

平成6年に開港したとき、私もポートセールスということで、自治体などの皆さまと各地域へ行きました。中国の深圳もよく行きましたが、その頃はただっ広いところに高層ビルが1棟2棟ポツンと建っている感じでした。この20年くらいで中国は大きく発展し、近隣の台湾、韓国、最近ではタイ、マレーシアなども大きな発展をとげており、そこからのお客さまもこれからはどんどん取り込んでいかなければならない状況になっています。そのために関西として広域でどのような取り組みをしていくべきか。とりまとめた関西広域観光戦略についてお話します。

■世界の観光に関する動向

3つのテーマがあります。1. マクロの視点で、観光に関する動向がどうなっているか。2. その中で関西の現状がどういう状況か。3. 最後に関西広域観光戦略についてお話しいたします。

まず世界の観光に関する動向です。世界の旅行市場は順調に伸びており、2014年で11億3,800万人。2030年には約18億人が世界を旅行するということです。そんな中、日本は少子高齢化で人口減少が進んでいきます。

例えば外国人旅行者1人が日本でどれくらい

世界の観光に関する動向



- 世界の旅行市場は拡大を続けており、2014年の国際旅行者数は11億3,800万人。2030年には、18億900万人に拡大することが見込まれている。
- 人口減少が進むわが国においては、観光振興により外国人旅行者を取り込むことが重要。

国際旅行者数の推移



観光交流人口増大の経済効果

外国人旅行者一人当たりの旅行消費額 15万1,174円 (2014年)



外国人旅行者8人で日本人1人あたりの年間消費額 (123万円) に相当

訪日外国人旅行者数・旅行消費額の推移



- 2014年には、訪日外国人旅行者数が過去最高の1,300万人を突破。また、政府は、2015年には、1,500万人以上になると予測。
- 外国人旅行者が日本で買い物などに使ったお金についても、2兆278億円と過去最高を記録。

旅行消費額と訪日外国人旅行者数の推移



のお金を落とすかですが、2014年の1人あたりの旅行消費額を見ると、約15万円くらいです。外国人が8人集まれば大体120万円のお金が落ちることです。これが日本人1人あたりの年間消費額に相当するというので、少子高齢化で人口減少が進むなか、外国人を取り込んで消費を盛り上げていくことが、これからの日本の新しい産業が生きる道ではないかと思えます。

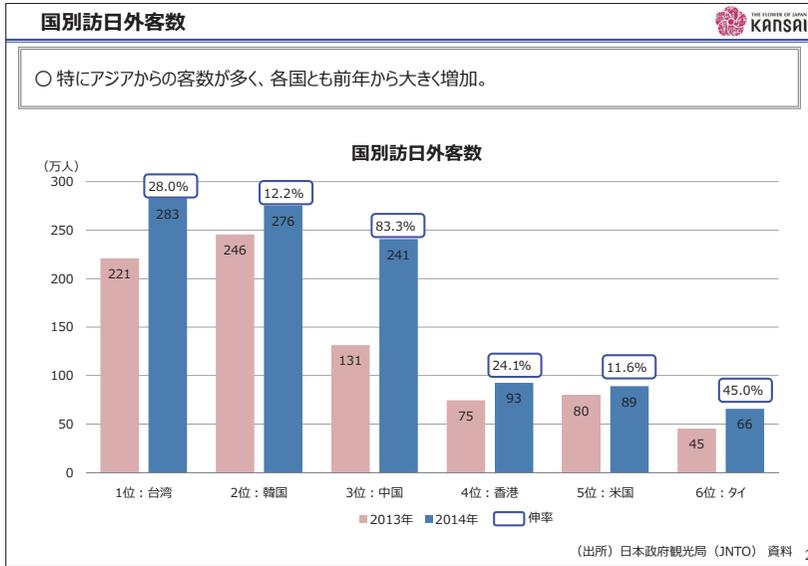
わが国への外国人旅行者数ですが、2013年に初めて1,000万人を突破し、その後も顕著に推移して2014年は過去最高の1,300万人超を記録しました。政府は2020年に2,000

万人の旅行者を獲得するという目標をたてていますが、これに向けては順調に進んでいると思っています。1月、2月の観光統計を見ますと、2月は過去最高を記録する状況なので、今のところ順調だと思います。あわせて外国人が日本で買い物などに使った消費額も顕著に伸び、2014年には約2兆円と、この2年で2倍になり、新たな産業としても大きく期待できると思います。

国別訪日外国人旅行者数では、どの国から日本に来ているのかというと、1位台湾、2位韓国、3位中国、4位香港、5位米国。最近ASEAN諸国の伸びが著しく、6位にはタイが入っています。アジアからのお客さんが多く、東南アジアの経済発展に伴い、タイ

やインドネシア、マレーシアなどからのお客さんが増えていくのではないかと思います。国別にもそれぞれ特徴がありますが、最近個人旅行者が増えているので、受け入れ側としてはこういう部分へのきめ細かな対応も今後必要となってくるのではないかと考えています。

外国人旅行者が増えている日本ですが、世界的に見たらどうなのか。観光庁の外国人旅行者受入数の国際比較(2012年)では、2014年に1,300万人超が来たとしても、世界のランキングで見ると20位くらい。最近伸びていますが、世界的に見れば日本への旅行者数はアジ



アの中でも中国、マレーシア、タイ等にはまだまだ追いついていないのが現状です。

■政府の動きや関連連の取り組み

観光立国実現に向けた政府の動きについて、2013年3月に観光立国推進閣僚会議が設置され、2014年6月には観光立国実現に向けたアクション・プログラム2014が決定されています。2020年のオリンピック、パラリンピックを見すえた観光振興をやっていこうと、さまざまな取り組みが進められています。インパウンドの拡大に向けてビザ要件の緩和等の取り組みもされています。これらが奏功してASEANからのお客さんが増えています。アクション・プログラムは、今年の夏頃に改訂されると聞いていますが、関西としても国の政策動向をにらみながら、環境整備などをどうしていくのか考える必要があります。関連連としても観光に力を入れていきたいと思っています。

関連連は「2020年に関西の“ありたき姿”」として、日本の双発エンジンとして日本をリードすること、アジア有数の中核都市圏（ハブ）になることを目指しています。関西をグローバルに人や企業が交流する、なくてはならない都市、地域にしていこうと活動しています。具体的にはこれを実現するための中期目標を定め、

活動をしているところです。

2017年までの中期目標として、一つ目は「東京一極集中是正と地方創生をリードする関西モデルをつくっていくこと」。二つ目は「世界トップレベルのイノベーション拠点へと成長していくこと」を掲げています。今日のテーマとは直接関係はありませんが、国家戦略特区等の指定もされているので、こういった制度も活用しながら、健康医療分野の取り組みも進め、こちらの分野でもビジネスを含め外国からお客さんを呼び込める地域にしていきたいと思っています。

三つ目が「アジアとの人・ビジネスの交流拡大・連携強化による活力ある地域への成長」ということで、関西広域観光戦略に基づくインパウンド推進に力を入れていきたいと思っています。

一つ目の「東京一極集中是正と地方創生をリードする関西モデルの構築」については、目指すべき国土の構築に向けた取り組みということで、現在国交省で国土形成計画として今後の日本の国土のありかたについて議論が進められているところです。関連連としてもこの国土形成計画にきっちり関西が位置づけられるように、国交省への働きかけなどをしております。

また、日本の発展を支える広域交通・物流

- 【1】東京一極集中是正と地方創生をリードする関西モデルの構築
 - **目指すべき国土の構築に向けた取り組み**
 - 日本の発展を支える広域交通・物流ネットワークの整備・強化に向けた取り組み
(リニア中央新幹線全線同時開業、北陸新幹線早期全線開業、高速道路ミッシングリンク解消など)
 - 東北の復興に資する風化・風評防止や新事業創出に向けた取り組み
 - 分権型道州制の実現と関西広域連合の発展支援
 - 経済成長の根幹を担う電力供給の早期安定化と現実的なエネルギーミックス・環境政策の推進
 - 財政健全化と成長の両立に向けた中長期的な経済財政運営の実現
 - 競争力強化・企業存立基盤に資する法制度・会計制度等の構築
- 【2】世界トップレベルのイノベーション拠点への成長
 - **健康・医療イノベーション創出による健康・医療産業発展および健康社会の実現**
 - 人・企業を呼び込みイノベーションを生み出す魅力あるまちづくり
 - 関西の強みを活かしたものづくり産業拠点の形成
 - 新たなステージに向けたけいはんな学研都市の活性化
- 【3】アジアとの人・ビジネスの交流拡大・連携強化による活力ある地域への成長
 - **関西広域観光戦略に基づくインバウンド推進**
 - 関西有望分野におけるアジアへのビジネス展開支援
 - 女性の活躍推進など多様な働き方を支える雇用システムの構築
 - 親関西人材の拡大、関西経済の活性化に資する人材の育成・活用
 - グローバルな競争条件を確保する経済連携の推進
 - 海外訪問団の派遣・受け入れ等の国際活動を通じたビジネス交流の強化

ネットワークの整備・強化に向けた取り組みでは、日本に来たお客さんが東京に来ても関西に来られる、九州に来ても関西に来られるといった国土づくりをしていかねばならないと思っています。関経連としても今一番重点的に取り組んでいることとして、リニア中央新幹線の全線同時開業があります。東京・名古屋間で2027年にオープン予定ということで建設がスタートしています。今の計画では、大阪まで伸びるのが2045年なので18年間の差があります。18年間の差があるような形で新幹線ができると、関西にとっては今後の発展に様々な影響が出るだろうと、大阪府、大阪市などにも協力を得て、同時開業実現の働きかけをしているところです。こういった取り組みとセットで観光振興を進めていかねばなりません。

■関西の現状、関西の人気スポット

関西は非常に古い歴史をもつ地域なので、人々を呼べるツールがたくさんあります。その中でも特に歴史的な遺産が関西には集積しています。

全国で18カ所ある世界遺産のうち5カ所、国宝は約6割、重要文化財は約5割と、歴史的な遺産、文化資源が関西に集まっています。これらは世界から人を呼び込めるものだと思います。

ます。日本の他地域にこれだけ集積している所はなかなかありません。

外国人旅行者が日本に来たとき、どんなところに行っているのかを紹介しているのが世界最大の旅行口コミサイト「トリップアドバイザー」です。外国人が観光地に関していろいろなコメントをしています。日本人ではなかなか気付かないような点についてコメントが出されていますので是非一度ご覧ください。トリップアドバイザーで「外国人に人気の日本の観光スポット2014」として、2014年にここに投稿した人がどんなところに行って、どんなところが人気なのかが発表されています。

これによるとベスト10のうち関西が5つ入っています。伏見稲荷大社、金閣寺、東大寺、高野山奥之院、清水寺の5つです。高野山はフランス人など欧米の方に非常に人気があり、一昨日の日経新聞でも和歌山のホテルがいっぱいになっているという記事が出ていました。高野山等に行く方が泊まっているとか、大阪で最近ホテルの空きがないので和歌山に流れているという話もあります。

おもしろいのは11位から30位の間です。例えば14位の嵐山モンキーパーク。猿を見られる地域は特に欧米ではほほないため、人気だそうです。

いろいろなコメントを見ていると、最近では買い物天国・ファーストフードの拠点として道頓堀などの人気が非常に高いようです。27位にはビデオゲームパースペースステーションが入っており、外国人にとって興味深いスポットとなっているようです。このように、歴史的なものだけではなく、買い物や食べ物の方でも人気があります。関西にはさまざまな魅力が詰まっているので、これらをうまくつなげて発信していくことが重要だと思います。

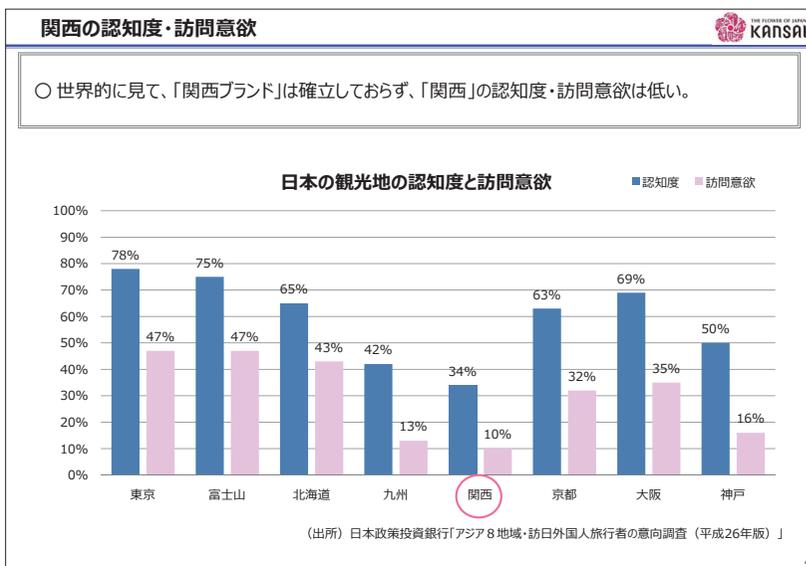
ランキングには入っていませんが、外国人に人気のスポットを紹介します。川崎重工業㈱が神戸にカワサキワールドという施設を持っており、そこでは川崎重工業の様々な製品、例えばバイクや新幹線の車両などが展示されています。特に川重のバイクは世界的にもブランド価値が高く、カワサキワールドへ行ったロンドン在住の方のコメントでは“Surprised and delighted”とすごく喜んでいました。阪神甲子園球場に行く外国人も結構多いようです。バッターごとに歌が流れて楽しいとか、日本のモダンカルチャーを理解するのに一番いい場所だ、といったコメントもあります。甲子園球場は大正13年（1924年）にできています。アメリカで最も古いのがボストンのフェンウェイパーク。ボストンレッドソックス・上原がいる球場ですが、これが1912年、次に古いのがシカゴカブスのリグレーフィールドで1914年、それに次ぐ古い歴史ある球場だということで、“The ballpark itself is beautiful”と書かれています。こうした施設を観光スポットとして紹介していくこともおもしろいのではないかと考えています。

それ以外には有馬

温泉、梅田スカイビル。特にスカイビルは最近、イギリスの高級紙「タイムズ」で、世界を代表する20の建築物ということで、ギリシャのパルテノン神殿やインドのタージ・マハルなどに並ぶ世界的な建築の一つだとして紹介されたのをきっかけに、お客さんが増えており、2013年には25万人が訪れたそうです。グランフロント大阪の方々に話を伺うと、スカイビルに行った人がグランフロントに寄ってショッピングをするという流れが出てきているそうです。観光スポットが新しい人の流れをつくっていくと思います。口コミサイトを見ていると、そこに見えているのに行くのが難しくてなかなかたどり着けない、どう行ったらいいのかわからない、ということで行き方の地図が出ているようです。

歴史的なものから新しいものまで、様々なものが集積しているのが関西の魅力だと思うので、うまくつなげて発信するのが重要だと思います。

お客さんが増えている背景には、関西国際空港におけるLCCの便数の増加もあります。外国人旅行者は順調に増えていますが、海外における関西の認知度を見ると、まだまだ認知度は低く、関西のブランドが確立されていないのが現状です。東京が一番認知度が高く、訪問意欲も最も高くなっていますが、関西は北海道や九



州よりも認知度が低くなっています。

ただ、京都や大阪という単位で見ると認知度は高いので、関西みたいな中間ブランドがいるのかという議論もあります。今年2月の関西財界セミナーでも、「関西」という中間ブランドは別にいらぬのでは、というご意見もありましたが、広域観光振興を進めていく上では、「関西」というブランドをもってやっていく意義があると思っています。

外国人の延べ宿泊者数をみたととき、やはり首都圏・東京に集中しているのが現状です。東京都は1,345万人泊ですが、関西の各府県で見ると、最も多い大阪府でも600万弱、京都でもすぐく外国人旅行者が多いですが341万人泊ということで、関西全部の府県を足しても東京に及ばない状況です。関西では特に大阪、京都にお客さんが集中している中で、各地域で宿泊者を受け入れることも必要になるし、そういうことを発信することで、京都に来たお客さんを奈良などの他地域に誘導してもらえらる仕組みをつくっていくこともできると思います。やはり京都、大阪、神戸など各地域ができることは各地域でやって、連携してできることは協力していく形で、広域的に取り組んでいくことが必要です。

■関西広域観光戦略

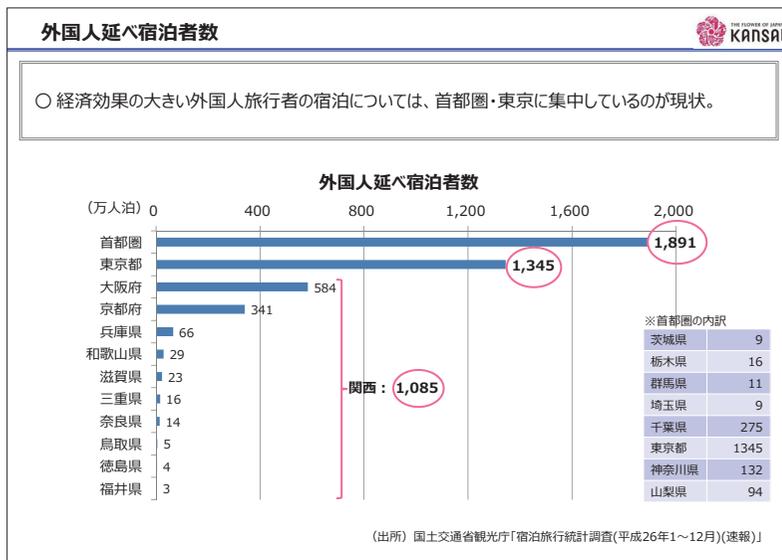
関西の広域観光戦略を関経連で取りまとめました。まず、2013年11月に広域観光研究会を設置し、検討をスタートしました。なぜこれを始めようと思ったのか。各地域それぞれがやるところはそれぞれでやって、協力できる部分は協力したほうが、より関西の観光を盛り上げていけるのではないかと感じたからです。地域が力を合わせて共通の目標をつくり、その目標に向かってみんなが協力していこうということでこの研究会が設置されました。

研究会の座長には新関西国際空港㈱福島会長に就任いただきました。ポイントは関西広域で取り組まれている方々、各地域の方々と一緒に検討していこうということです。関西広域連合、関西地域振興財団に参加してもらうとともに、国の出先機関の方々にも協力を要請して、近畿経済産業局や近畿地方整備局、近畿運輸局にも参加いただきました。さらに大阪観光局など各地域の観光振興団体の皆さんにも参加してもらい、関西広域の視点で官民あげてやっていこうと、さまざまな検討を進めたということです。

2019年にラグビーのワールドカップ、2020年に東京オリンピック・パラリンピック、2021年に関西ワールドマスターズゲームズが開催されるので、この3カ年をターゲットとして目標設定を行い、

取り組みを推進していきます。これまで関西の広域的な取り組みをしても共通の目標がなかったもので、関西としての数値目標を設定しました。

関西への訪日外国人旅行者数は2013年の段階で345万人でした。2013年時点で日本に訪問する外国人の33.3%が関西に訪問していますが、2020年の国の目標が2,000



万人で、この2,000万人の目標に対して関西に40%、800万人の人を呼び込もうという目標を設定しています。訪日外国人の関西での延べ宿泊者数は2013年には817万人泊でした。2014年のデータでは更に200万人泊くらい増えていますが、2020年には関西で2,000万人泊の宿泊者数を目指します。訪日外国人の消費額については、関西で約1兆円までもっていただくという目標を掲げました。

これは関経連の研究会としてまとめていますが、重要なのは関経連だけでやるのではなく、関係するみなさんで目標を共有することです。広域連合と一緒に検討してきた成果として、広域連合が3月にまとめた関西観光・文化振興計画においても、同じ目標を掲げてもらいました。これで官民ともに同じ目標に向かって活動していくことが共有できたと思います。

関西広域観光戦略 THE FLOWER OF JAPAN KANSAI

○ 2019年「ラグビーワールドカップ2019」、2020年「東京オリンピック・パラリンピック」、2021年「関西ワールドマスターズゲームズ2021」を中期的なターゲットとして、以下の目標を掲げ、取り組みを推進。

○ 関経連・関西広域連合が同じ数値目標を掲げ、官民一体となり取り組みを推進。

	2013年	2020年
訪日外国人旅行者数	345万人	800万人
外国人延べ宿泊者数	817万人泊	2,000万人泊
訪日外国人旅行消費額	4,675億円	1兆円

訪日外国人旅行客数

2013年 345万人

2020年 800万人

2013年比 約230%

【参考】関西広域連合「関西観光・文化振興計画」

関西を魅力ある文化観光圏とすることで、文化発信力を高めていくことを目的とした計画。

関経連「関西広域観光戦略」と同じ数値目標を設定。

訪日外国人旅行者数 : 800万人

外国人延べ宿泊者数 : 2,000万人泊

訪日外国人旅行消費額 : 1兆円

関西広域観光戦略 THE FLOWER OF JAPAN KANSAI

○ 2020年の目標達成に向け、「関西への誘客のための情報発信」「魅力的な関西観光圏の整備推進」の2つの観点から取り組みを推進。

関西への誘客のための情報発信

- 関西ブランドの強化・発信

 - 「はなやか関西」シンボルマークの活用
- 観光に関する情報の編集・発信

 - 観光ポータルサイトの創設「i-KANSAI（仮称）」
 - 文化財等のデジタルアーカイブ化の推進
- 海外のメディアを活用した情報発信

 - 関西を紹介するテレビ番組の海外放送
- 情報収集とプロモーションの展開

 - SNSなどを通じた情報収集
 - 海外プロモーション
 - ファムトリップ
 - 関西ワールドマスターズゲームズ2021プロモーション

魅力的な関西観光圏の整備推進

- 魅力的な関西観光圏の整備推進

 - 無料Wi-Fi利用環境の整備「KANSAI Free Wi-Fi（仮称）」
 - 関西統一交通パスの創設「KANSAI One Pass（仮称）」
 - Mスラム対応の推進
 - エアライン・クルーズの誘致
 - 関西国際空港アクセスの改善
 - 多言語対応の充実
 - 魅力ある拠点の整備・連携
 - エリアマネジメントの推進
 - ホテル等の供給体制の検討
- 新たなコンテンツとプログラムの開発

 - ニューツーリズムの創出
 - 広域観光ルートの策定「はなやか関西ルート（仮称）」
 - オリンピック文化プログラムの開発
 - MICE機能の整備、IRの活用
- マーケティングデータの整備

 - 観光統計データの整備
 - 関西観光満足度調査の実施

■目標達成に向けた取り組み

この目標を達成するために関西が広域的に協力してやっていくべきことをまとめています。「はなやか関西」のシンボルマークを作る。関西を紹介するテレビ番組の海外放送を行う。インフラの関係では無料 Wi-Fi を広域的に整備して利便性を高める。マーケティングデータを整備するなどです。

「はなやか関西」シンボルマーク。関西をアピールするのにマークのひとつもない、ということで、象徴的なシンボルマークを作りました。関西2府8県を象徴する観光スポットを1つの花びらの中に入れて、関西のはなやかさを象徴するデザインでまとめています。これをまとめるにあたり、外国人の意見を聞きました。日本人の感覚では全く違うマークが候補だったのですが、領事館などの外国の方々にと、抽象的でおもしろくないということで、一番評判がよかったこのマークが採用されました。

近くで見ると様々な要素が詰まっていて、遠くから見たら1つにまとまっているという、楽しさが盛り込まれたマークになるよう工夫しました。さまざまなところで活用してもらっており、関経連でもアピールをしています。本日はバッジをみなさまにもお配りいたしましたの

で、是非海外や国内のほかの地域に行くときに付けていただいて、アピールしてもらいたいと思っています。すでにさまざまなアピールのツールとして使っており、例えば昨年11月に井戸関西広域連合長、山田京都府知事、経済界でタイとマレーシアにトッププロモーションに行った際、このマークを使い関西をPRしました。また、関西国際空港では1階の大型ビジョンでこのマークの動画を流しており、できるだけ多くの方の目に付くところでアピールをしています。

ほかの取り組みも紹介します。デジタルアーカイブの取り組みですが、関西には多くの歴史的な建造物や仏像などがあります。これらをできるだけ多くの方にPRしようということで取り組んでいます。関西のけいはんな学研都市(関西文化学術研究都市)には、情報通信系の国立の機関などがあり、そのなかで裸眼で立体的な映像が見られるというすばらしい研究開発をされている NICT (情報通信研究機構) という機関があります。この NICT にも協力してもらい、奈良のお寺や重要文化財などをデジタルアーカイブ化したり、それを裸眼で立体的に見られるような映像をつくってうめきたで発信するなどの取り組みも行っています。「WABISABI NARA」という世界に発信するウェブサイト

も公開しております。奈良市に海龍王寺という、国宝や重要文化財があるお寺があります。一般的にはあまり知られていないですが、このお寺の映像をネットで流したところ、外国人のお客さんが増えて人気が出ているそうです。ウェブサイトの影響力を感じました。このような形で関西が持つ技術を

「はなやか関西」シンボルマーク



○ 関西地域*をPRするシンボルマークを策定。
○ 花弁に関西の“はなやかさ”を象徴する要素をデザインし、関西の持つ豊富で多様性に満ちた魅力を表現。
(* 滋賀県、京都府、大阪府、兵庫県、奈良県、和歌山県、鳥取県、徳島県、福井県、三重県)



THE FLOWER OF JAPAN
KANSAI

- 1: 鯖江のメガネ【福井】
- 2: フライブルの化石【福井】
- 3: スワイガニ【福井、京都、兵庫、鳥取】
- 4: 二十世紀梨【鳥取】
- 5: 鳥取砂丘【鳥取】
- 6: 姫路城【兵庫】
- 7: 神戸港のクルーズ【兵庫】
- 8: 仁徳天皇陵古墳【大阪】
- 9: たこ焼きと串カツ【大阪】
- 10: 阿波おどり【徳島】
- 11: 大鳴門橋と渦潮【徳島】
- 12: 通天閣【大阪】
- 13: 大文字山【京都】
- 14: 五重塔【京都】
- 15: フナ【滋賀】
- 16: 琵琶湖【滋賀】
- 17: 奈良公園のシカ【奈良】
- 18: 東大寺盧舎那仏像【奈良】
- 19: 温州ミカン【和歌山】
- 20: 伊勢神宮【三重】
- 21: 伊勢エビ【三重】
- 22: 熊野古道【和歌山、三重、奈良】

デジタルアーカイブの取り組み



- 関西に豊富に存在する文化遺産をデジタルアーカイブ化し、けいはんなの有する最先端の情報通信技術を使って発信することで、関西ブランドの認知度向上と観光インパウンドの促進をはかる。
- 実証プロジェクトをスタートし、結果を踏まえつつ関西一円に取り組みを展開する。

200インチ多視点裸眼立体映像



【実績】
○ 2013年11月「海龍王寺」、2014年10月「大安寺」コンテンツを制作し、ナレッジキャピタルにて公開中。

【課題】
○ ハード面の課題（設置場所、設置費用）
○ ソフト面の課題（映像表現に制約あり）

【方向性】
○ 早期商用化の実現と大型デジタルサインージとして関空等の主要スポットでの活用を目指す。

イメージファインダー



【実績】
○ 2013年11月、奈良観光情報を格納した「奈良けいはんな五百景」を制作。2014年10月「奈良けいはんな千景」にバージョンアップ。

【課題】
○ 主要駅等での試験設置による効果検証。

【方向性】
○ 多言語対応の観光情報、地図情報、チケット発券機能を有するデジタルサインージ化を目指す。

試作サイト「WABISABI NARA」



【実績】
○ 2014年4月、本格的な欧米向けの検索対策を実施した「WABISABI NARA」を公開。

【課題】
○ コンテンツ拡充のため費用確保。
○ 写真販売スキームの検討（課金システム、著作権、寺社・写真家への手数料）

【方向性】
○ 既存インパウンドサイトの連携によるサイト認知度の向上と、収入源確保（課金、広告、補助金、ファンド）によるサイトの自立的な運営を目指す。

当面の活動

- 「WABISABI NARA」のコンテンツや機能の追加による**関西ブランド発信力強化**。
- サイト認知度向上とサイトを活用した観光インパウンド促進のための**新たなビジネスモデル構築**。
- 奈良県・奈良市など地元行政との連携強化による観光振興の官民連携モデルの構築と**他エリアへの水平展開**。

つかって様々なものを発信する取り組みも進めています。

■関西を紹介するテレビ番組の海外放送

関西を紹介するテレビ番組の海外放送です。ネットもそうですが、やはり新興国で影響力があるのはテレビ放送だそうです。そこで関西の多様な魅力を海外に発信しようと、今年2月から3月にかけて総務省の予算も一部いただき、タイと台湾の方に関西に来てもらい、現地の視点で関西を見てもらって、それを番組にしてそれぞれの国で紹介する試みをしました。関西広域で魅力を発信しようということでやっています。タイでは番組ナビゲーターのティックさん、「兼高がおる世界の旅」みたいな感じの方ですが、私も直接お会いしましたところ、近大マグロがとてもおいしいということと、食糧難の中でやっている近大の取り組みのすばらしさなどにすごく感銘を受けていま

した。

台湾の番組では、台湾で人気のあるモデルと関西で生まれて台湾で活動されている日本人のタレントに来てもらい、美容やグルメで美しくなろうということ、様々なところを紹介しています。特に台湾は個人旅行者が増えているので、多様な魅力を発信する必要があります。できるだけ台湾でも露出を上げていこうと、はなやか関西のシン

ボルマークを付けて周ってもらいました。日本でいうと「世界ふしぎ発見」のような番組だと思います。「関西にしかない観光名所」を強調して、ありきたりの観光地ではないという紹介をタイ、台湾など海外にしていかなければと思います。

こういう形で、関西の多くの魅力を現地の方の視点でアピールしていく活動を進めています。これはトライアルでやったので、効果がどれくらいあったのかを検証しながら次の展開に進めていきたいと考えています。

関西を紹介するテレビ番組の海外放送



- 関西の多様な魅力を海外に発信することを目的に、海外においてテレビ番組を放映。
- 総務省のモデル事業を活用し、2015年2～3月にかけてタイと台湾にてテストトライアル放映を実施。

タイ 番組名：パジョン・バイライ・プロムデー（Spirit of Adventure）

放映チャンネル：チャンネル5・地上波

放映日時：2015年①2/12 ②2/19 ③2/26 ④3/5（全て木曜日）
20:30～20:55（25分）

制作：関西テレビ(国内)/M3「アイア」M3(国内)/P「ラマ」イカ「リ(タイ)

番組概要：番組ナビゲーター（ティックさん・女性）が自らの体験を通して、関西の各エリアの魅力、食、文化についてタイ語でレポートする番組。

※既存番組「パジョン・バイライ・プロムデー」を4回分切り出し、関西特集として放映。4月に追加放送決定。



1回目 2/12 (木) 兵庫	2回目 2/19 (木) 奈良・三重・和歌山	3回目 2/26 (木) 和歌山・大阪・兵庫	4回目 3/5 (木) 京都
<ul style="list-style-type: none"> ●津屋山カニ取材（漁～水揚げ～セリ） ●城崎温泉紹介（外湯めぐりなど温泉情緒） ●高級旅館でのカニ三昧（西村屋・招月庵・個室露天風呂・カニ料理） 	<ul style="list-style-type: none"> ●東大寺・大仏殿取材（柱ぐり、神様からの使者 鹿取材） ●三重県伊賀忍者村（忍者の歴史を語り、衣裳を着て、手裏剣などを体験） ●和歌山の近大白浜実験場（クエの養殖の取材、九絵亭のクエ料理） 	<ul style="list-style-type: none"> ●近大水産研究所・和歌山（マグロ養殖の取材） ●近大水産研究所・クラフト大阪（マグロ料理と行列の取材） ●城崎マンホール（ショーやアザシなどの取材、アジ釣りや試食体験） 	<ul style="list-style-type: none"> ●舞妓ファンミーティング（舞妓の茉莉花（まrika）のファンミーティングの取材。舞妓の衣裳を着て紙團散策、和菓子作り体験）

関西を紹介するテレビ番組の海外放送

THE OFFICE OF KANSAI
KANSAI

台湾 番組名：美の関西
 放映チャンネル：台湾電視公司 (TTV)・地上波
 放映日時：2015年①2/7 ②2/14 ③2/21 ④2/28 (全て土曜日)
 17:00~17:30 (30分)
 制作：朝日放送(国内)/ビーキューブ(国内)
 番組概要：台湾のモデル・タレントが、親孝行として自分の母親に美しくなってもらうために関西へ。各地と一緒に美に関連する体験(観光・美容・グルメ)を通じ、関西を紹介していく親孝行旅番組。
 ※各回に神戸生まれ、台湾で活躍中の日本人 河南裕士が旅の案内人(MC)として登場。
 ※特別番組として放映。

<p>1回目 2/7 (土) 大阪</p> <p>【出演】インチー & 母</p>  <p>●買物・体験・観光 りんくうアミニアトリック/黒門市場/空中庭園/HEPFIVE(コリアン 1979) ●美容 @cosmeスト(ミナミ)/阪急百貨店 ●食 はつせ(ミナミ・お好み焼き)</p>	<p>2回目 2/14 (土) 神戸 & 有馬</p> <p>【出演】ワン・インビン & 母</p>  <p>●買物・体験・観光 Umieモザイク/神戸の夜景 ●美容 ピ・アイ・加行社*-(有馬)/有馬温泉 ●食 さくら(元町・神戸ビーフ)/御所坊(松葉ガニ)</p>	<p>3回目 2/21 (土) 京都</p> <p>【出演】シア・ルージュ & 両親</p>  <p>●買物・体験・観光 HINAYA KYOTO(着物ファッション)/芝おん彩(舞妓)/京都祇園*&堂(オルゴール手作り) ●食 NINJYA KYOTO(シタマルトウ)/東山茶寮(抹茶スイーツ)/蔵元錦本店(居酒屋ごはん)</p>	<p>4回目 2/28 (土) 和歌山 & 大阪ミナミ</p> <p>【出演】リン・ユウチュン & 母</p>  <p>●買物・体験・観光 黒潮市場(マクD解体ショー) ●美容 スイスホテル・スバ(日本酒LIVE) ●食 横綱(新世界・串カツ)/黒潮市場(和歌山・バーベキュー) HERBS(なんば・スイーツ)</p>
--	---	--	--

ムズが開催されるので、これらのイベントを活用しながら取り組みを進めたいと思います。

みずほ総合研究所の資料によると、オリンピックが開催された国では、開催後、観光客が増えています。特にオーストラリアはシドニーでオリンピックが開催されましたが、シドニーだけではなく、例えばメルボルンや

■世界的なスポーツイベントの開催

世界的なスポーツイベントの活用です。ご案内のとおり2019年から2021年にかけて、たて続けに世界的なスポーツ大会が開催されます。ラグビーのワールドカップは大阪と神戸が選ばれています。2020年の東京オリンピック・パラリンピック、これは東京ですが、2016年度以降、文化プログラムを全国各地で展開するということなので、こうした取り組みの活用も必要かと思えます。

また2021年に関西ワールドマスターズゲー

ールドコーストなど他の地域もオリンピックを契機に観光客が伸びたそうなので、いかに東京オリンピックの効果を関西にも波及させるかが今後の課題だと思います。

関西で開催されるイベントに関西ワールドマスターズゲームズ2021があります。まだほとんど知られていないと思いますが、4年に1回開催され、30歳以上なら誰でも参加できる生涯スポーツの国際大会です。国際マスターズゲームズ協会(IMGA)が主催しています。IMGAはオリンピック委員会にも認

世界的なスポーツイベントの開催

THE OFFICE OF KANSAI
KANSAI

○2019年から2021年にかけて、「ラグビーワールドカップ2019」、「東京オリンピック・パラリンピック」、「関西ワールドマスターズゲームズ2021」など世界的なイベントの開催が予定されており、観光振興を進めるにあたって絶好の機会となっている。

2013年	2014年	2015年	2016年	2017年	2018年	2019年	2020年	2021年
						ラグビーワールドカップ2019	東京オリパラ大会開催	関西ワールドマスターズゲームズ2021
○魅力ある観光地域づくりを促進し、オリンピック開催効果を地方に波及						訪日外国人 2000万人時代へ		
○オリンピック開催国「日本」という国際的注目度を活かした訪日プロモーション						オリパラ等効果の持続		
○文化プログラムや聖火リレーの実施								
○事前合宿の日本各地への誘致								
○各種国際競技大会の日本各地への誘致								
○オリパラ等開催決定を契機としたMICE誘致のプロモーション強化								
○外国人受入環境の整備 多言語対応、無料Wi-Fi、買い物環境(免税店、クレジットカード)、宿泊施設の充実・バリアフリーの充実、CIQの充実、ファーストレーンの設置、案内所・案内ガイドの充実等								
	CONCACAF Gold Cup 2015 FIFAワールドカップ	Rugby 2015 ラグビーワールドカップ	Rio 2016 オリンピック	Asian Cup 2017 全アジア札幌大会 平昌オリンピック FFAワールドカップ	Pyongyang 2018 オリンピック	Rugby 2019 ラグビーワールドカップ	Tokyo 2020 東京オリンピック	Kansai 2021 関西ワールドマスターズゲームズ

(出所) 日本政府観光局 (JNTO) 資料12

定された組織で、本部はスイスにあります。ここが主催するマスターズゲームズは、1985年カナダでスタートして以降、おおむね4年に1回開催されており、次回2017年はニュージーランドで、2021年は関西で開催されることが決まっています。大体これまで2万人くらいのお客さんが参加されていましたが、関西の大会では5万人をめざそう、うち2万人は海外から来ていただく、ということで取り組みがスタートしています。

すでに昨年12月に組織委員会が立ち上がっています。私どもの森会長、広域連合の井戸連合長を会長として、名誉会長には森元総理、下村文科大臣やJOCの竹田会長などにも組織委員会に参加してもらい、事務総長には元国土庁事務次官で阪神高速の社長をしていた現京都国際会館の木下館長にお願いし、関西だけでなくオール日本の取り組みとして進めていきたいと考えています。

具体的にどこでどんな競技をするかは来年10月に向けて固めていきます。競技はコア競技（絶対にやらないといけない競技）16種類と、オプションで各地域が選べる競技があり、これらを10日くらいにわたって2021年の5月に開催しようということです。少しだけマスターズゲームズのイメージ映像をご覧ください。

これは2013年に開催されたイタリア・トリノでのマスターズゲームズの様子です。開会式は町の中心部で行われて、日本および各国から参加されていました。30歳以上なら誰でも参加でき、元プロ選手とも一緒に競技ができるので、非常に満足度が高くリピーターとして何度も参加している人も多いようです。家族

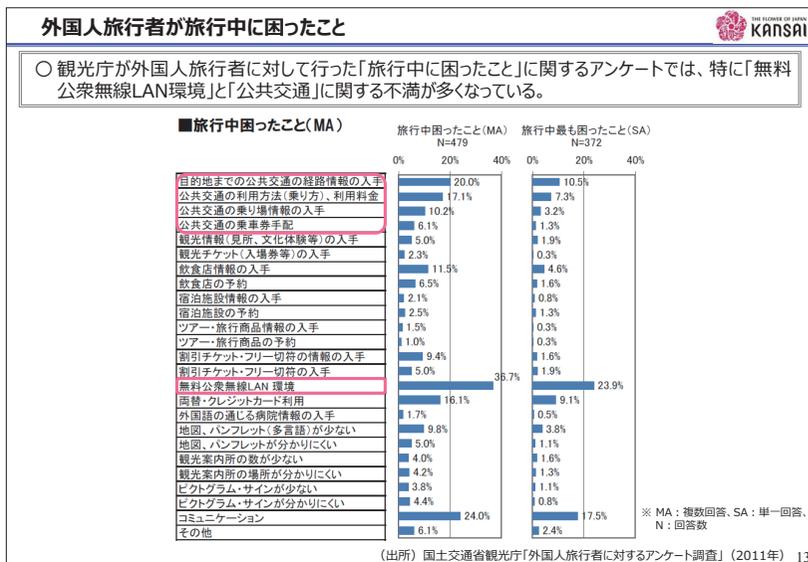
も一緒に参加されるということで、インバウンドの推進にもつながる大会です。2021年に関西で開催されるので、是非みなさまにもご参加いただければと思います。

■外国人旅行者が利用しやすい環境を

外国人が来るときにインフラの整備が非常に重要になってくると考えています。国交省では外国人の旅行者が旅行中困ったことを紹介していますが、公共交通、Wi-Fi環境などを便利にしてほしいという声が多いようです。必ずしも各国と比べて日本が遅れているわけではありませんが、利便性を向上してほしいというニーズがあるので、改善に向けた取り組みをしています。

まず、無料Wi-Fiの利用環境の整備についてです。現在は各地域・各事業者の方式の違いによって、それぞれ認証手続きが必要ですが、一度の認証により関西圏内で利用できるよう、事業者や行政と検討しているところです。

次は関西統一交通パスについてです。1枚のカードで各交通機関を利用でき、そのカードがあれば割引を受けられる、そんなカードを是非つくりたいということで、JR、私鉄5社、各市交通局と検討をはじめたところです。2016年4月に「KANSAI One Pass（仮称）」とい



関西統一交通バスの創設 THE POWER OF KANSAI

○ 関西においては、交通インフラが高度に発達しているが、外国人旅行者にとっては、乗り継ぎや乗車券の購入方法が複雑でわかりにくくなっている。

○ そこで、一枚のバスで関西圏を周遊できるよう、2016年4月に「KANSAI One Pass（仮称）」の創設をめざす。

14

う形で売り出せるように取り組んでいます。こうした取り組みによって利便性を高めていきたいと思っています。

また、いわゆる「ゴールデンルート」がありますが、西日本を周るようなルートも開発しようと、西日本広域観光ルート検討会が2010年につくられました。西日本の経済団体や観光振興団体と連携して、中国から来る旅行者をターゲットに「エメラルドルート」と名付け、PRしているところです。昨年は約650人がこのルートのツアーに参加したということです。

次はご参考ですが、統合型リゾート（IR）についてです。昨年、一度廃案になりましたが、今年の国会で審議されるのではないかとということで、注目されているところだと思います。大阪では夢洲にIRができないかということで、IRを想定した検討会もスタートしています。実現に向けては、様々な課題がありますが、国の法案がどうなるかも見ながら、今後検討が進んでいくと思います。

■広域観光振興の推進体制

このような観光の取り組みを進める中で一番大事なのが、広域観光振興の推進体制をきっちりと詰めていくことだと思います。先ほども申

し上げましたが、それぞれができることはそれぞれがやればよいと思いますが、例えば、テレビで紹介する、関西の全体のブランドとともに各地域をPRする、観光周遊ルートをつくるなどの取り組みは是非広域でやっていきたい。そのほうが効果も上がるだろうし、各地域が少しずつ予算を出して最大の効果を上げられる。そんなことを考えていく必要があると思っています。

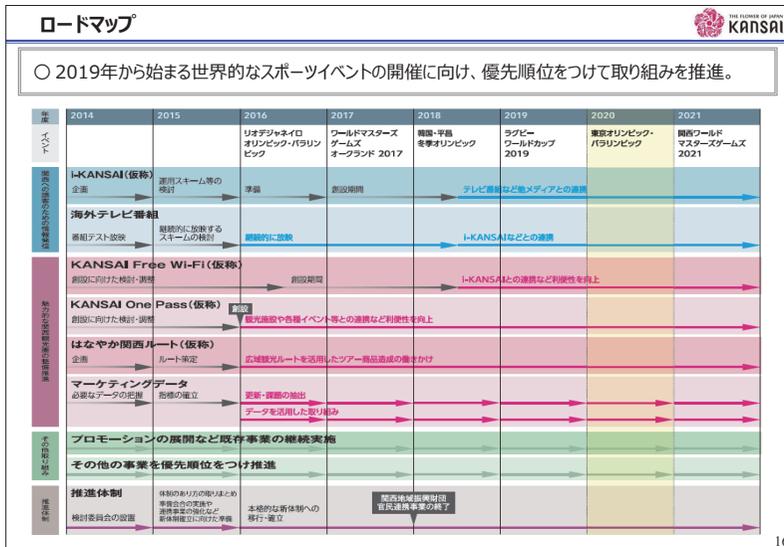
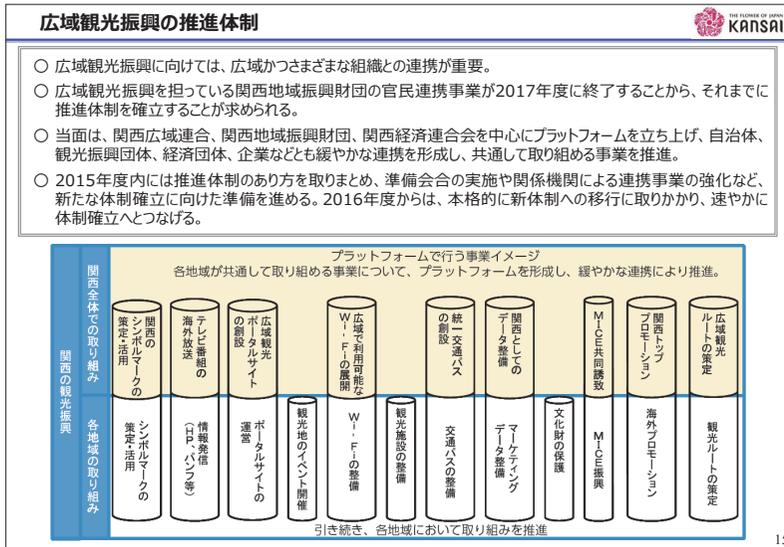
そのために関西広域連合、関西地域振興財団、関経連の3団体が中心になって、広域観光振興の推進体制を固めていくことについて昨年合意しました。今年度中にはどういう体制で広域観光振興を推進していくのかを固め、来年度以降新たな体制のもとで広域観光振興を進めていきます。もちろん組織を統合するといったことではなく、現在各地域がやっていることは継続しながら、みんなで協力するにはどういう体制がよいのかを検討するわけです。これは各地域の観光振興団体などにも参加してもらい、一緒にやっていかないと、関経連や広域連合だけがやってもうまくいきません。みんなで協力できる体制を今年度中に固めたいと思います。

フランスのリヨンでは、各自治体、経済団体などが一緒になって「ONLY LYON」という

共通のブランドを掲げ、共通戦略のもとリヨンの観光振興を進めています。また、観光だけではなく投資誘致、留学生誘致などを、「ONLY LYON」というブランドのもとで進められているので、参考にしながら関西での体制をつくっていきたくと思っています。

■おわりに

関西広域観光戦略の取り組みについて紹介をいたしました。今後みなさまにいろいろとご相談し、ご支援をいただきながら広域観光を盛り上げていきたくと思っています。どうぞよろしくお願いいたします。ありがとうございました。





より親しまれる関空に

読売新聞大阪本社 社会部 桑田 睦子

寝袋持参の海外貧乏旅を繰り返した学生時代から、空港や機内で過ごすのが好きで、一人旅では直行便を利用したことがない。関西出身の私にとって、関西空港は旅の出発点。旅行以外でも遊びに来ていたが、昨秋から関空の担当になり、仕事でも通うようになった。

空港に漂う、旅客の旅への期待や緊張感が入り交じる独特の雰囲気が好きで、ターミナルに足を踏み入れるとワクワクする。多くの人にとって、空港や飛行機は目的地へ赴く通過点や手段でしかないかもしれないが、他の場所にはない魅力がある空間だ。それをもっと生かせないか。そして、関空を中心に泉州地域をもっと盛り上げられないか。取材などを通じて感じたことを、少しまとめてみたい。

■まだ多い日本人客

5月23、24日に関空で開催された旅の情報発信イベント「関空旅博2015」の会場で、久しぶりに見る日本人客の多さに驚いた。声をかけた阪南市の会社員女性(49)が「最近では空港がにぎやかでうれしい。旅博には毎年来ますよ」と話すのを聞き、ほっとした。

関空は昨年度、14年ぶりに旅客数が2,000万人を超えた。国際線では、外国人客が前年度比41%増の699万人。初めて日本人を上回り、国内の主要空港でも例がない「逆転現象」が起きている。飛行機の到着時間帯によっては、国際線到着口で取材に応じて頂ける日本人客を探すのに、苦労することもあるのが実情だ。

訪日外国人客の急増や相次ぐ増便で、旅客数や運航ダイヤの発表では「開港以来初めて」「過去最多」の語が頻繁に登場する。しかし、開港当初と比べて、日本人の国際線旅客数はほとん

ど増えていない。むしろ、微減傾向だ。

関空は国際空港らしくなったと思う。しかし、国内線を含めると日本人客の方が多い。若者の海外離れや人口減を受け、他の主要空港では、空港に航空ファンらと呼ばれ寄せる動きも活発になっている。外国人客と同時に、日本人のファンをつかむことが、関空や泉州のにぎわいにつながるのではないだろうか。

■増やそう関空ファン

「関空は飛行機が見えない」という声を、よく聞く。搭乗客はターミナルで見られるが、ターミナルビルには展望デッキがない。遊びに来た客が飛行機を見るとなれば、展望ホール「スカイビュー」などへの移動が必要だ。海上空港の関空では、機体の撮影スポットも主にスカイビューに限られる。しかし、離陸の方向によっては高度が高くなり、つまらない。「迫力のある写真を撮るなら、伊丹空港の方がいい」(42歳男性)との評もある。

昨秋、海上から関空の機体を撮る空美ちゃん向けの撮影ツアー(泉南市観光協会主催)取材し、面食らった。「飛行機好きだから、空美ちゃんと気が合うかも」と思ったが、タイ国際航空のA380や普段は飛来しないエア・タヒチ・ヌイの機体を見ると、食いつきが違った。

一眼レフを使いこなし、盛んにシャッターを切る姿に圧倒されたが、特に驚かされたのは、空美ちゃんの行動力。大阪府内だけでなく、千葉、福岡など9府県から10～50歳代の約30人が参加し、ツアーに参加するためだけに、飛行機で日帰り駆け付けた女性もいた。

「これは観光商品にできそう」と思ったが、撮影ツアーに漁船を出した岡田浦漁協(泉南市)によると、海上からの撮影希望があれば漁船を

出すものの、申し込みは年間5組程度。確かに、熱心な空美ちゃんでも、個人で漁船をチャーターするのはハードルが高いと思う。

関空同様に海に面する羽田空港では、空港管理会社の子会社が、海上から空港を眺めるツアーに力を入れている。頭上を飛ぶ機体を見るコースが好評で、空港夜景を眺める周遊クルーズもある。金曜日の夜に、ビールの飲み放題をしながら夜景を楽しむクルーズも人気で、今夏も開催を検討している。

中部国際空港でも、制限区域内の降車ポイントで飛行機を間近に見られる「滑走路見学ツアー」を開催。週末には必ずイベントスペースで子供の発表会や三味線の演奏会などを開き、「飛行機に乗らないお客にも楽しんでもらえる空港づくり」に取り組んでいるという。

新規就航や増便が相次ぎ、多彩なデザインの飛行機や便数が増えた今、関空自体を観光面で売り出すのはどうか。展望デッキ整備に投資するとなれば大変だが、一案として、旅行会社や地元の観光関係団体などでクルーズを企画するのはいかがだろうか。伊丹と関空の周遊プランがあっても楽しいかもしれない。

訪日外国人の急増で、泉州のホテルには大勢の客が宿泊しているが、アウトレットや深夜まで営業する大型スーパーに客が集中している。関空がにぎわい、ホテルも客で埋まっているのに、泉州が通過点にとどまるのはもったいない。外国人客向けのナイトライフ充実も兼ね、関空ファンが増えたらと思う。

■実は都心に近い関空

「関空は遠い」という印象を持たれがちだ。開港20年が過ぎたが、交通の便がいつも課題に挙がる。大阪市中心部から関空までの所要時間は小一時間程度。世界の主要空港と比べて、さほど遠くはない。アジアには都心から約30分の主要空港もあるが、外国人客から所要時間の苦情を聞くことは意外に少ない。

「遠い」理由として考えられるのは、街中にある伊丹空港の便利さと、関空に行くには関空連絡橋(3.75キロ)を渡らねばならないとい

う感覚かと思う。普通車の通行料は、泉佐野市の利用税100円を含め計920円。ETC割引縮小などの影響だが、取材で関空島と対岸の市町を行き来する度、高額と感じる。

更に駐車料金がかかり、負担が増す。鉄道で月に複数回、関空に来るとお得になる企画切符があってもいいのでは。関空が伊丹以上に「近く」なることはない。交通アクセスの改善は重要だが、搭乗客以外の客も足を運びやすくして遠くはないと実感してもらおうなどし、「遠い関空」の意識改革も必要ではないだろうか。

■大阪らしさの発信を

大阪らしさが足りないという声もある。初めて関空を利用した山口県の自営業女性(60)から「おいしい物を安く食べられるという印象がある、大阪らしい食事をできずに残念」と聞いた。関空の食は期待外れだったそうだ。

地方空港では、空港に愛称を付けたり、手荷物受け取りのターンテーブルに名物のオブジェを流したりして、ご当地色を盛り込んだPRに熱心だ。利用客数が多い関空ではそう簡単にはいかないかもしれないが、関空島内や対岸の自治体に、大阪の食や文化を楽しめる屋台などを並べてはどうだろうか。

乗り慣れない電車や駅名に戸惑う外国人客を見かける度、特急の一部を除いて日本語で行われる鉄道の車内アナウンスには、英語を加える時期に来ていると感じる。いっそ、ワンポイントで大阪弁を入れるぐらいのユーモアがあってもいい。外国人客は、日本の接客の丁寧さに感動するようだ。関西人ならではの親しみを込めた「おもてなし」をすることで、関空のリピーター客も増えるのでは、と思う。

関空が振るわなかった約10年前、乗り継ぎで利用した香港国際空港(中国)やチャンギ空港(シンガポール)の規模や活気に圧倒された。新規就航が相次ぐ現在の関空は、機体や航空会社コードを見てすぐに会社名を思い出せないこともあるほど。東京五輪開催の2020年には、どう変わっているだろうか。ずらりと並ぶ機体を眺め、ワクワクしている。



あるゲームセオリストから見た航空ネットワーク



一般財団法人 運輸調査局 情報センター
米崎 克彦

(一財)関西空港調査会 航空交通研究会メンバー

1. はじめに

国際航空ネットワークの充実という課題のもと、近年、日本の空は自由化が一段と進んだ。日本のオープンスカイ政策は2007年より首都圏空港以外から空港を対象として始まり、2010年以降は成田空港を含む（2013年夏の発着枠増加後）自由化がおこなわれた。この政策の方向性は、先行した欧米の自由化政策の影響もあるが、情報革命や輸送技術革新に影響を受けた世界経済の成長（特にアジア地域）を日本経済に取り込もうとする日本政府の政策に影響をうけたものである¹。

また、「観光立国」を掲げた政策と最近の円安傾向、観光ビザの緩和もあり、インバウンド観光が急速に増え、さらなるネットワークの充実とそれに伴った首都圏空港の容量の問題、関西国際空港や中部国際空港等の国際空港の充実など様々な課題が提起されている。

本稿では、「航空ネットワーク」というものについて、ある側面より学術的な考え方と先行研究の一部をまとめ、現実的な問題を取り扱う様々な考え方の一端を紹介する。

2. 航空ネットワーク研究のそれぞれ

現実の航空ネットワークを考えるためには、どのような旅客流動があるのか、政府の航空政策の下での空港の容量や立地問題さらに航空会社のネットワーク戦略など複雑な問題を考慮しなければならない。しかし複雑なものを複雑なまま考えられるのであればそれが一番よいのかもしれないが、学術的に考える場合、極力単純化し、ある条件のもとでどのような特徴が存在するのか、またある条件が変化することによって、どの様に状態が変化するのかを求めることをする。単純化の一つの方法として数学の利用がある。特にネットワークという概念を考えるのにグラフ理論を援用することが多くの分野でおこなわれている。グラフ理論とは、節点（vertex）の集合と辺（edge）の集合で構成されるグラフの性質について研究する学問であり、様々な現実のつながりに応用し抽象化して、様々な物の関連性を明らかにする数学の一分野である。

グラフ理論を利用した航空ネットワーク分析の研究²として、航空会社にとってどのようなネットワークの構造が効率的（ハブ・アンド・スポークシステムとポイント・ツー・ポイントシステムの比較など）であるのか、Hendricks, Piccione and Tanらの一連の研究がある。彼らは、航空会社が独占的状況である場合や複数の航空会社が自由に路線を決定できる状況（政府の規制がない）に

1 国内の規制緩和は1980年代後半から始まり、2000年の改正航空法施行によって、大幅に進んだ。

2 経済学的立場より航空ネットワーク分析を行っているものは非常に多く存在する。ハブ・アンド・スポークシステムの優位性に関しては範囲や密度の経済性、参入障壁やアライアンスの観点など様々な存在する。例えばフェルトハウスら（2007）参照。また、オペレーションズ・リサーチの分野でも盛んに研究が行われている。

において、どのようなネットワーク構造が効率的になるかを分析している。独占状態における航空会社は、ハブ・アンド・スポークシステム（HSS）を構築することが優位になる。その理由は、各路線の旅客を増やせば一人あたりの費用が下がるという密度の経済が働くからである。また、複数の航空会社のケースでは、それぞれ HSS を形成することは均衡として存在しない（社会的に望ましくない）。反対に、ある航空会社が独占的に HSS を利用してすべての都市間にネットワークを形成することが均衡として導かれる（望ましい）³。このように航空会社の競争状態によって望ましいネットワークの形状は異なり、一概にすべての航空会社が HSS を形成するのが望ましいとは言えない。

他の研究としては、社会的ネットワーク分析を応用した研究も存在する。社会的ネットワーク分析とは、社会を構成するメンバーを節点とし、それぞれの関係を紐帯で表すことによって、ネットワークの構造を可視化し、それぞれの特徴量（次数、節点間の距離、中心性など）を計算することによりネットワーク構造を分析することである。たとえば、李（2008）では、国際航空ネットワークにおける各都市のネットワーク性と国際航路の連結度を測定し、国際航空ネットワークがどのような特徴を持っているネットワークであるか分析している。結果として、国際航空ネットワークはロンドンを中心としたグローバルネットワークが形成されていることが導かれている⁴。

さらに、最近のネットワーク研究の進展を受け現実の複雑なネットワークを分析する手法（複雑系ネットワーク）も生まれている。注目される特徴として、スモールワールド性⁵やスケールフリー性⁶、クラスター性などの概念がある。任意の2つの節点が、わずかな数の辺を介してつながる性質を持つスモールワールド性を利用した航空ネットワーク分析には、Sawai（2012）がある。節点が他の節点とどれだけ辺でつながっているかを表す指標を次数と呼び、一部の頂点だけが大きな次数を持ち、大多数の頂点は次数が小さいという性質を持つスケールフリー性のある現行の航空ネットワークと比較して、平均航続距離と平均乗換回数を削減できるスモールワールド性のある航空ネットワークの有用性を提案している。

3. まとめ

本稿では、グラフ理論の応用という観点から、一部の研究を紹介した。ただしグラフ理論という共通項があったとしても、現実の複雑な航空ネットワークを分析するに当たっては、様々な視点が存在し、目的により導く結論が大きく異なる。経済学においても、大別するとミクロ経済学、マクロ経済学と言う2つの見方が存在するが、ネットワーク全体を考えるのか、それとも個々の要素を考えるのかで全く違う結論を得る。たとえば、Hendricks, Piccione and Tan らの一連の研究の立場から見れば、海外と日本をつなげる国際航空ネットワークは首都圏空港を中心とし日本の地方空港をつないだハブ・アンド・スポークシステムが社会的に望ましい（仁川であるかも…）。これに対して、Sawai（2012）のようなスモールワールド性をもつ国際航空ネットワークを考えるのであれば、首都圏空港だけでなく、関西国際空港や中部国際空港がある程度の国際線ネットワークを形成し、また国内各地と結びつくことが必要となる。

現実のネットワークは、空港の容量制約や歴史的経緯によって理論通りには構築されていない。

3 彼らのモデルでは、仮定として航空会社が市場を独占していたとしても、サービスを行うすべての都市間に直行便を飛ばすと全体の利潤が負になるが、HSS のような路線が少ない形でつながっていれば利潤が正となるとしている。

4 グローバルネットワークの中核を形成しているのは、ロンドン以外ではパリ、ニューヨーク、アムステルダム、フランクフルトなどが明らかにされている。また、アジアの都市群は別の特徴を持ち、さらに 1992 年と 2004 年では一番変化を示した地域でもあることが述べられている。

5 たとえば“穴次の隔たり”（世界中すべての人は間に 4 人の人を介して知り合いであるという）が有名である。

6 次数分布のべき乗則とも呼ぶ。

しかし、画一的な選択肢よりもバラエティが多く選択肢があるほうが社会的な満足度は大きいと考えられるため、インバウンドの観光客が急増し、今後も増加が続くと予想される今、彼らも含めてそれが実現されるべきである。つまり、関西のハブ性とネットワークの多様性の改善を同時に実現するためには、関西の3空港間の移動距離を最小化する努力が必要であることは論を待たない。そして、歴史的経緯に縛られず関西の空港に課せられた制約が社会的に最適かどうかを見直し、新しい民間事業者が経済的合理性にもとづく運営ができるようにすることを理論は物語っているのである。

【参考文献】

1. 国土交通省航空局航空戦略課（2015）” 航空政策のこれまでと今後” 「運輸と経済」 4月号
2. ヤン フェルトハイス, ギオーム ブルハウト, ヤップ ドゥウィット, 松本秀暢（2007）”日本の主要空港における航空ネットワーク・パフォーマンスの評価－総合的な評価方法の提案と適用－”, 「運輸政策研究」, 2-12.
3. 李 虎相（2008）「社会ネットワーク分析にもとづく国際航空ネットワークの構造」『地学雑誌』, 117, pp.985-996.
4. Hendricks, K., Piccione, M., and G. Tan (1995) ‘‘The Economics of Hubs : The Case of Monopoly’’ , *Review of Economic Studies*, 62, pp.83-99.
5. Hendricks, K., Piccione, M., and G. Tan (1999) “Equilibria in Networks” , *Econometrica*, 67, pp.1407-1434.
6. H. Sawai (2012) “Reorganizing A New Generation Airline Network Based on An Ant-Colony Optimization-Inspired Small-World Network” , *Proceedings of the IEEE World Congress on Computation Intelligence*.

2015 年度（平成 27 年）4 月運営概況（速報値）

【参考】 <http://www.kiac.co.jp/pr/pr.htm>

○発着回数 431.2 回 / 日（対前年比 112%）

国際線：295.4 回 / 日
（対前年比 115%）
国内線：135.8 回 / 日
（対前年比 107%）

発着回数について

発着回数は、国際線と国内線の合計が前年比 112%と 4 月として過去最高の水準となり、24 ヶ月連続で前年を上回りました。国際線は、中国などアジアを中心に LCC・FSC 両方で増便が相次ぎ、前年比 115%と過去最高の水準となり、19 ヶ月連続で前年を上回りました。国内線は前年比 107%と 6 ヶ月連続で前年を上回りました。

○旅客数 62.9 千人 / 日（対前年比 121%）

国際線：45.2 千人 / 日
（対前年比 125%）
国内線：17.6 千人 / 日
（対前年比 111%）

旅客数について

国際線・国内線の合計旅客数は、前年比 121%と 43 ヶ月連続で前年を上回っております。内訳として、国際線の日本人旅客は前年比 92%と 16 ヶ月連続で前年を下回っておりますが、外国人旅客は前年比 152%と 38 ヶ月連続で前年を上回っており、初めて日本人旅客の 2 倍以上の数となりました。

○貨物量 2,044t / 日（対前年比 101%）

国際貨物：1,982t / 日（対前年比 101%）
積込量：939t / 日（対前年比 102%）
取卸量：1,043t / 日（対前年比 100%）
国内貨物：62t / 日（対前年比 108%）

貨物量について

国際線貨物量は前年比 101%と 19 ヶ月連続で前年を上回っております。

1. 発着回数には空輸機・燃料給油機・プライベート機・特別機・回転翼機等を含む。
2. 国際線旅客数は、大阪入国管理局関西空港支局の発表資料を基に算出している。
3. 国際貨物量は、大阪税関公表の関西国際空港航空機積卸貨物量による。

平成 27 年 5 月 25 日 大阪税関・発表資料より

大阪税関貿易速報 [関西空港]

2015 年（平成 27 年）4 月分

【貿易額】（単位：百万円、%）

	輸 出			輸 入			バランス (△は入超)
		前年比	全国比		前年比	全国比	
近畿圏	1,383,878	105.4	21.1	1,266,744	95.7	19.2	117,134
管内	868,121	102.3	13.3	944,898	93.5	14.3	△ 76,777
大阪港	290,210	105.3	4.4	429,906	100.8	6.5	△ 139,696
関西空港	435,985	108.2	6.7	308,279	115.4	4.7	127,707
全国	6,551,467	108.0	100.0	6,604,907	95.8	100.0	△ 53,441

【空港別貿易額】（単位：百万円、%）

	輸 出			輸 入			バランス (△は入超)
		前年比	全国比		前年比	全国比	
関西空港	435,985	108.2	6.7	308,279	115.4	4.7	127,707
成田空港	749,775	116.8	11.4	997,217	113.6	15.1	△ 247,442
羽田空港	93,544	498.9	1.4	60,091	147.8	0.9	33,453
中部空港	89,077	129.4	1.4	98,218	123.3	1.5	△ 9,140
福岡空港	93,041	260.0	1.4	36,466	158.1	0.6	56,574
新千歳空港	2,918	125.5	0.0	1,035	124.3	0.0	1,883

関西国際空港の出入（帰）国者数

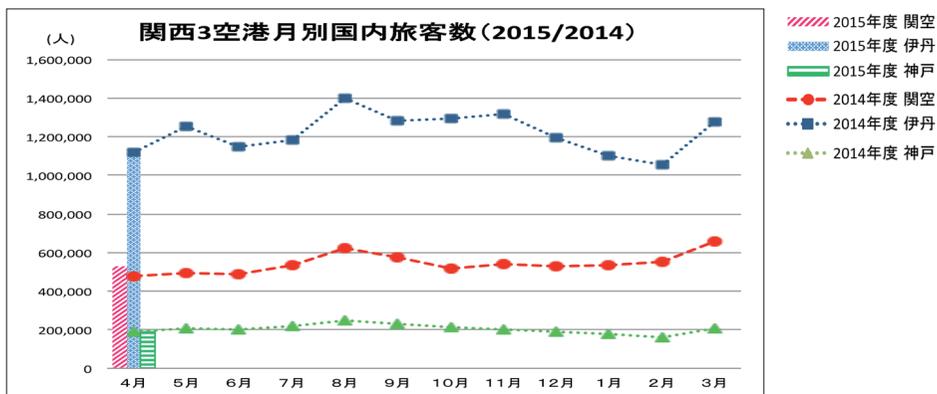
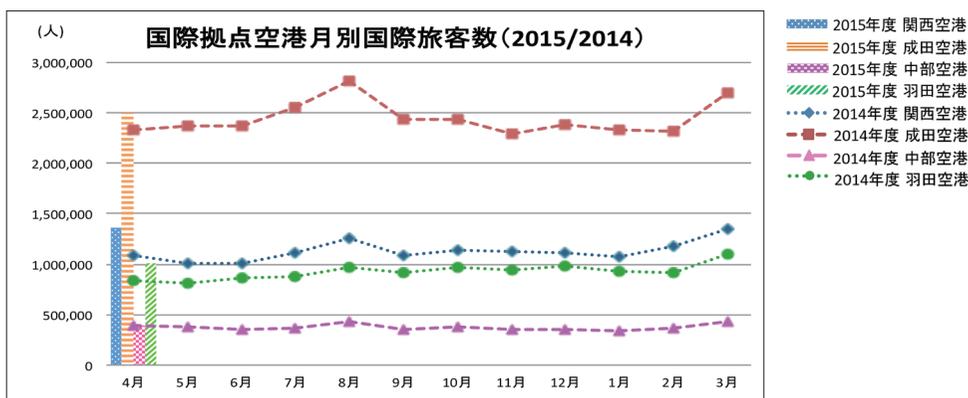
	外国人				日本人				合計 (1日平均)	
	外国人入国 (1日平均)	外国人出国 (1日平均)	日本人帰国 (1日平均)	日本人出国 (1日平均)	日本人帰国 (1日平均)	日本人出国 (1日平均)	合計 (1日平均)	合計 (1日平均)		
平成6年	254,482	2,139	258,566	2,173	940,315	7,902	955,393	8,029	2,408,756	20,242
平成7年	756,740	2,073	750,195	2,055	3,271,373	8,963	3,294,853	9,027	8,073,161	22,118
平成8年	948,542	2,592	914,848	2,500	4,067,434	11,113	4,102,609	11,209	10,033,433	27,414
平成9年	1,079,427	2,957	1,027,910	2,816	4,316,824	11,827	4,320,636	11,837	10,744,797	29,438
平成10年	1,079,290	2,957	1,022,094	2,800	4,054,740	11,109	4,045,772	11,084	10,201,896	27,950
平成11年	1,112,468	3,048	1,079,403	2,957	4,251,949	11,649	4,226,223	11,579	10,670,043	29,233
平成12年	1,194,740	3,264	1,158,019	3,164	4,598,347	12,564	4,646,518	12,695	11,597,624	31,687
平成13年	1,198,460	3,283	1,152,108	3,156	4,152,997	11,378	4,118,258	11,283	10,621,823	29,101
平成14年	1,177,532	3,226	1,119,898	3,068	3,809,221	10,436	3,829,030	10,490	9,935,681	27,221
平成15年	1,112,229	3,047	1,057,401	2,897	2,928,003	8,022	2,916,829	7,991	8,014,462	21,957
平成16年	1,289,109	3,522	1,245,589	3,403	3,771,899	10,306	3,755,088	10,260	10,061,685	27,491
平成17年	1,369,514	3,752	1,327,750	3,638	3,861,466	10,579	3,861,860	10,580	10,420,590	28,550
平成18年	1,505,025	4,123	1,431,800	3,923	3,852,179	10,554	3,861,140	10,578	10,650,144	29,178
平成19年	1,662,378	4,554	1,584,128	4,340	3,676,627	10,073	3,687,939	10,104	10,611,072	29,071
平成20年	1,652,085	4,514	1,568,513	4,286	3,342,988	9,134	3,336,644	9,117	9,900,230	27,050
平成21年	1,357,558	3,719	1,332,025	3,649	3,188,812	8,736	3,184,158	8,724	9,052,551	24,829
平成22年	1,751,906	4,800	1,736,108	4,756	3,353,402	9,187	3,349,188	9,176	10,180,605	27,909
平成23年	1,343,897	3,682	1,363,251	3,735	3,396,026	9,304	3,388,895	9,285	9,492,089	26,008
平成24年	1,795,222	4,905	1,778,162	4,858	3,616,472	9,881	3,622,975	9,899	10,812,831	29,543
平成25年累計	2,326,263	6,373	2,285,785	6,262	3,433,700	9,407	3,439,358	9,423	11,485,106	31,466
平成26年1月	214,230	6,910	188,220	6,070	301,010	9,710	255,010	8,230	958,470	30,920
平成26年2月	198,700	7,100	215,360	7,690	254,960	9,110	289,340	10,330	958,360	34,230
平成26年3月	253,960	8,190	221,970	7,160	340,990	11,000	317,620	10,250	1,134,540	36,600
平成26年4月	302,140	10,070	316,510	10,550	221,620	7,390	221,020	7,370	1,061,290	35,380
平成26年5月	255,150	8,230	239,030	7,710	244,070	7,870	242,110	7,810	980,360	31,620
平成26年6月	242,680	8,090	239,380	7,980	245,460	8,180	242,700	8,090	970,220	32,340
平成26年7月	281,500	9,080	273,410	8,820	259,030	8,360	265,210	8,560	1,079,150	34,810
平成26年8月	269,290	8,690	290,050	9,360	328,290	10,590	328,850	10,610	1,216,480	39,240
平成26年9月	263,670	8,790	231,980	7,730	292,670	9,760	275,800	9,190	1,064,120	35,470
平成26年10月	303,140	9,780	298,890	9,640	252,660	8,150	265,170	8,550	1,119,860	36,120
平成26年11月	302,230	10,070	298,980	9,970	261,560	8,720	251,960	8,400	1,114,730	37,160
平成26年12月	287,590	9,280	292,710	9,440	246,650	7,960	270,040	8,710	1,096,990	35,390
平成26年累計	3,174,280	8,700	3,106,490	8,510	3,248,970	8,900	3,224,830	8,840	12,754,570	34,940
平成27年1月	287,120	9,260	270,370	8,720	260,960	8,420	239,090	7,710	1,057,540	34,110
平成27年2月	338,020	12,070	349,730	12,490	232,270	8,300	240,070	8,570	1,160,090	41,430
平成27年3月	386,660	12,470	344,890	11,130	313,730	10,120	296,660	9,570	1,341,940	43,290
平成27年4月	460,450	15,350	481,860	16,060	199,280	6,640	206,370	6,880	1,347,960	44,930
平成27年5月	419,510	13,530	414,660	13,380	242,100	7,810	235,720	7,600	1,311,990	42,320
平成27年累計	1,891,760	12,530	1,861,510	12,330	1,248,340	8,270	1,217,910	8,070	6,219,520	41,190
前年同期	1,224,180	8,110	1,181,090	7,820	1,362,650	9,020	1,325,100	8,780	5,093,020	33,730
対前年同期比	154.5%		157.6%		91.6%		91.9%		122.1%	

※外国人入出国者数には、協定該当者を含み、特例上陸許可は含まれない。
 ※平成6年の数値は、開港（9月4日）以降の総数である。

関西 3 空港と国内主要空港の利用状況 2015 年(平成 27 年) 4 月実績【速報】

区分	空港名	国際線	前年同月比	国内線	前年同月比	合計	前年同月比
発着回数 (回)	関西 3 空港	8,871	114.8%	17,744	101.5%	26,615	105.6%
	関 西	8,861	114.8%	4,074	107.0%	12,935	112.2%
	大阪(伊丹)	0	—	11,382	99.5%	11,382	99.5%
	神 戸	10	500.0%	2,288	102.9%	2,298	103.2%
	成 田	14,720	101.5%	4,111	102.4%	18,831	101.7%
	中 部	2,878	98.7%	4,710	99.3%	7,588	99.1%
旅客数 (人)	関西 3 空港	1,357,477	125.0%	1,853,134	103.6%	3,210,611	111.7%
	関 西	1,357,466	125.0%	529,171	110.7%	1,886,637	120.6%
	大阪(伊丹)	0	—	1,134,618	101.4%	1,134,618	101.4%
	神 戸	11	550.0%	189,345	98.7%	189,356	98.7%
	成 田	2,500,359	107.1%	497,231	123.1%	2,997,590	109.5%
	東京(羽田)	1,000,917	119.3%	4,600,681	98.9%	5,601,598	102.0%
	中 部	393,400	98.8%	405,512	102.4%	798,912	100.6%
貨物量 (トン)	関西 3 空港	59,449	101.1%	12,111	102.3%	71,560	101.3%
	関 西	59,449	101.1%	1,860	108.5%	61,309	101.3%
	大阪(伊丹)	0	—	10,251	101.2%	10,251	101.2%
	成 田	169,690	100.8%	集計中	—	169,690	100.8%
	東京(羽田)	29,164	117.5%	63,247	100.9%	92,412	105.6%
	中 部	14,058	100.6%	2,295	96.0%	16,353	99.9%

注1. 羽田の発着回数は、2014年4月から速報では公表していないため掲載していない。
 注2. 神戸の発着回数は着陸回数を2倍して求めた数値。神戸の貨物量は実績が無いため掲載していない。
 注3. 速報値であり、確定値とは異なることがある。



関西空港調査会からのお知らせ

○第422回定例会（平成27年5月21日開催）

「観光先進地域・関西へ向けて～インバウンド観光市場が伸びゆくなかで～」をテーマに大来 哲郎 氏（株式会社日本政策投資銀行関西支店企画調査課長）の講演会を開催した。

○第423回定例会（平成27年6月15日開催）

「持続可能な社会におけるテクノロジー」をテーマに奥野 武俊 氏（公立学校法人大阪府立大学 前理事長兼学長）の講演会を開催した。

今後の予定

○第424回定例会（土木学会継続教育プログラム登録〈1単位〉）

日 時 平成27年7月22日（水）16：00～17：00 場 所 大阪キャッスルホテル

テ ー マ 「近畿の港湾について」（仮題）

講 師 稲田 雅裕 氏（国土交通省近畿地方整備局港湾空港部長）

○関西空港調査会 26年度研究会事業 成果報告会

日 時 平成27年8月4日（火）15：00～17：00 場 所 大阪キャッスルホテル

プログラム ～関西圏の空港の将来的な活用～ 26年度「関西圏空港研究会」成果報告

慶應義塾大学商学部教授 加藤 一誠

～関西ものづくり観光振興ビジョン～ 26年度「ツーリズム拡大研究会」成果報告

京都嵯峨芸術大学芸術学部教授 坂上 英彦

～空港ビジネスのイノベーション～ 26年度「空港ビジネスイノベーション研究会」成果報告

近畿大学経営学部教授 高橋 一夫

※上記「定例会」に参加ご希望の方は当調査会ホームページ（<http://www.kar.or.jp/>）からお申し込み下さい。定員になり次第締切いたします。

○第425回定例会（土木学会継続教育プログラム登録〈1単位〉）

日 時 平成27年9月1日（火）16：00～17：00 場 所 大阪キャッスルホテル

話題提供 「沖縄国際物流ハブの現状と今後の展望」

講 師 宮城 直人 氏（沖縄県商工労働部国際物流商業課物流商業政策班班長）

※上記「定例会」に参加ご希望の方は当調査会ホームページ（<http://www.kar.or.jp/>）からお申し込み下さい。定員になり次第締切いたします。

○シンポジウム

日 時 平成27年10月7日（水）13：30～17：00 場 所 スイスホテル南海大阪

テ ー マ 「関西圏における訪日旅客への取り組みと関空への期待」

基調講演 福島 伸一 氏（新関西国際空港㈱代表取締役会長）

パネルディスカッション

パネリスト 平井 裕子 氏（京都府商工労働観光部観光政策監） 溝畑 宏 氏（公益財団法人 大阪観光局長）

水口 典久 氏（兵庫県産業労働部観光監） 福井 義尚 氏（奈良県地域振興部観光局長）

山西 毅治 氏（和歌山県商工観光労働部観光局長）

コーディネーター 住田 弘之 氏（新関西国際空港㈱執行役員）

※上記「シンポジウム」の詳細及びお申込みは、当調査会ホームページ（<http://www.kar.or.jp/>）をご覧ください。定員になり次第締切いたします。

○見学会

日 時 平成27年9月20日（日）～22日（火） 見 学 先 香港空港貨物ターミナル施設

定 員 20名（先着順） 旅行代金 166,630円

※上記「見学会」は賛助会員を対象としたものです。一般の方は参加いただけません。

事務局だより

▶ 年末年始にニュージーランドへ行ってきました。

まずは、20時間もの長旅を経てクライストチャーチへ。クライストチャーチは2011年に起こった地震の影響が今なお色濃く残っており、倒壊したままになっている建物が街のあちこちで見られました。

▶ 次に今回の最大の目的であるテカポ湖へ。テカポ湖は空気が澄んでいて光害が少ないため、世界でも有数の星空が見える場所です。テカポ湖の魅力は星だけでなく、湖の色は絵の具を溶かしたようなミルクブルーをしており、湖畔にはルピナスの花も見られ、絵本のような世界が広がっていました。

しかし、星空は運次第。天気が悪ければ星空は雲の上です。さらに、テカポ湖は天気予報が当てにならない場所らしく、ますますどうなるかわかりません。テカポ湖は2泊しましたが、1日目は台風並みの強風が吹いており断念。2日目の夜には何とか晴れましたが、今度は月明かりが邪魔で星がよく見えません。そこで月が沈む夜中の4時ごろに起きて空を見上げました。目の前に広がったのは一面の天の川や南十字星などの星々。日が昇り始めるまでのわずか30分ほどでしたが、なんとか見ることが出来て感激でした。（でつ）

関西国際空港二期事業土砂採取跡地！

多目的公園「いきいきパークみさき」(岬町)



「いきいきパークみさき」は関西国際空港二期事業の土砂採取跡地の多奈川地区多目的公園内にあります。野球グラウンドや多目的広場では、様々なスポーツ大会を開催しており、公園内の道路を特設コースとした本格的なロードレースなどのサイクリングイベントも開催されました。また、企業用地ゾーンには、みるく饅頭「月化粧」で有名な青木松風庵の工場があり、毎日行っている無料工場見学では、焼きたてのお菓子を試食でき、ご好評をいただいています。生物が住みやすい空間を作っている「ピオトープ」は、普段は立ち入りできませんが、子どもたちと一緒に生き物を調査する「多奈川ピオトープ生きもの図鑑」が定期的に開催されています。



■アクセス 国道26号線「深日中央(深日ロータリー)」を深日港方面に。

「多奈川小学校前」信号を左折。

(所在地：岬町多奈川谷川13351番地の101ほか)

■問合せ 岬町 まちづくり戦略室 企画政策担当 TEL072-492-2775